

昭和62年度

第 18 集

文化財は、人々の文化的遺産の証左として地域の文化、住環境、歴史的景観等の地域 景観を形成する要因の一つです。本市においては、古代から近代にかけて各期・各種の 文化財が存在し、前橋の歴史的景観形成を構成する要素となっています。

文化財保護室は、昭和62年度に教育委員会の機構改組により発足し、各種文化財の保護・保存・育成・継承・享受のための調査・研究・普及活動を実施してまいりました。このことは、市民各位、関係機関、団体、市長部局等の関係者の御理解・御協力におうところが大であり深く感謝申し上げます。

62年度の保存・整備事業として長年の懸案であった県指定重要文化財の臨江閣本館・茶室の整備に着手できたことがあげられます。臨江閣は、県内に残る明治期の建造物の中で公的に建てられ使用された唯一の純和風の建物です。昭和64年夏頃には、昔の姿で市民に公開・活用していただけるものと思います。また、総社地区歴史散歩道の整備では、3ヶ年計画の第1年次として道標・道路標示等の設置ができました。

調査事業においては、文化財調査として元景寺文化財調査を実施し、1400余点に及ぶ資料を調査しました。中でも江戸時代後期の作である天狗岩堰(天狗岩用水)に係る絵図を調査しました。前橋西部地区の用水・産業史研究に大変役立つものと期待されています。また民俗文化財調査は、桂萱地区で実施し、地区住民の協力を得て多大なる成果を上げることができました。

埋蔵文化財の調査については、発掘調査を14遺跡実施し、調査総面積は5.3 haに及びました。特に、柳久保遺跡群においては、旧石器時代から縄文時代早期の遺構・遺物が発見されるとともに墨書土器で「田部」の字が検出されました。元総社明神遺跡は第6次の発掘調査を実施した。内堀遺跡は、大室公園整備に係る事前調査で遺構・遺物の分布状況を確認でき、今後の発掘調査と整備計画の資料を得ることができました。

普及事業では、文化財の教材化スライドの作成、文化財展として「甲冑展」、普及講座として「文化財入門」等々を実施し、多くの市民の参加が得られました。

以上のように、文化財保護室発足第1年次として、所期の目的を達したと思います。 しかし今後も、市民文化の向上、市民性の向上、文化財の保護、活用、調査についてより一層努力を注ぐ所存であります。

最後に、本文化財調査報告書第18集が、今後の文化財保護行政への一助となることを 期待するとともに、文化財保護行政へのご理解、ご協力いただけるための資料となれば 幸いと存じます。

昭和63年9月

前橋市教育委員会 教育長 岡 本 信 正

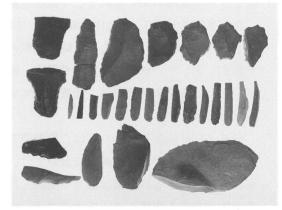
目次

L		

		目次・例言
Ι	昭	君和62年度事業概要1
II	保	ł護管理運営事業·····2
III	整	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
IV	普	- 及事業 5
V	坦	是蔵文化財発掘調査事業7
		本年度の発掘をふりかえって7
		前橋市内発掘調査地分布図7
		発掘調査一覧8
	1	柳久保遺跡群頭無遺跡9
	2	柳久保遺跡群中鶴谷遺跡(委託調査)9
	3	元総社明神遺跡Ⅷ9
	4	内堀遺跡群10
	5	堰越遺跡(委託調査)10
	6	総社桜が丘Ⅱ遺跡10
	7	大友屋敷 II 遺跡(委託調査)11
	8	大友屋敷Ⅲ遺跡(委託調査)11
	9	膏薬遺跡・・・・・・11
	10	堰越Ⅱ遺跡(委託調査)12
	11	北宿遺跡12

12 方自川地頂砂(報言青作成事業)…	12	芳賀団地遺跡	(報告書作成事業)	12
---------------------	----	--------	-----------	----

VI	文化財調査事業13
	元景寺文書目録14
	元景寺什物目録33
	あとがき34
	夕箍34



柳久保遺跡群出土旧石器

例 言

- 1. 本書は、前橋市教育委員会管理部文化財保護室で行われた昭和62年度の諸事業の概要をまとめたものである。
- 2.編集の方針として、各種の調査事業・文化財 普及事業や他の事業の成果を広く市民の方々に 還元できるよう、なるべくわかりやすく視覚に 訴える表現を心がけた。
- 3. 本書の企画、編集は高橋正男が担当した。

T 昭和62年度事業概要

前橋市教育委員会の機構改組により、昭和62年 4月1日に、前橋市上泉町664-4にて業務を開 (8) 史跡・文化財めぐり 始した文化財保護室では、次にあげる事業を実施 し、市民文化の向上に努めました。

1. 保護管理運営事業

- (1) 国有文化財管理
 - · 国指定史跡(天川·総社)二子川古墳
- (2) 国·県·市指定文化財管理
- (3) 史跡等の清掃・除草及び管理
- (4) 文化財パトロール
- (5) 前橋市蚕糸記念館の整備と管理
- (6) 文化財保護室改修工事

2. 整備事業

- (1) 総計地区歴史散歩道整備
 - ・案内標識等30基設置
- (2) 標識・説明板の設置及びフェンス修理
 - ・円満寺、東照宮、金冠塚古墳など

3. 普及事業

- (1) 文化財めぐり等パンフレットの発行
- (2) 第13回前橋市文化財展
- (3) 第3回文化財愛護作品コンクール
- (4) 柳久保遺跡群現地見学会
- (5) 第6回文化財普及講座
- (6) 第15回前橋市郷土芸能大会
- (7) 教材開発事業



文化財保護室

- ・『郷土の文化財』一近代・現代編一発行

4. 埋蔵文化財調査事業

- (1) 発掘調査 11遺跡
 - ・柳久保遺跡群 (荒子・荒口町) 2 現場
 - ·元総計明神遺跡Ⅵ(元総計町)
 - · 内堀遺跡群 (西大室町)
 - ・堰越遺跡 (大友町)
 - ・総社桜が丘II遺跡(総社町桜が丘)
 - ·大友屋敷 II 遺跡 (元総社町)
 - ·大友屋敷III遺跡 (元総社町)
 - ・膏薬遺跡 (高井町)
 - · 堰越 II 遺跡 (大友町)
 - · 北宿遺跡 (西大室町)
- (2) 整理事業 芳賀団地遺跡
- (3) 試堀調査 20件 3遺跡
- (4) 表面調査 43件

5. 文化財調查事業

- (1) 元景寺文化財調査
 - 前橋市文化財調査委員による調査
- (2) 民俗文化財総合調査
 - ・桂萱地区
- (3) その他の文化財調査
 - ・甲冑調査など



柳久保遺跡群より市立荒子小に移築保存した石室

II 保護管理運営事業

本市に所在する豊かな文化財を保護し、また活用するため、本年度においても下記のような事業を実施いたしました。

1. 国有文化財管理

国指定史跡の総社二子山古墳と天川二子山古墳は、大谷好夫さんと御供徳雄さんを監視人として 日常の管理を実施しました。除草や清掃はもちろ



ん、アメリカシロヒトリの発生を未然に防止するために防除作業も行いました。

アメリカシロヒトリ防除(天川二子山古墳) 今年の発生状況は例年に比べ少なく、桜等の樹木が美しく保たれ、多くの見学者がありました。

2. 国・県・市指定文化財管理

市内には、国指定の文化財等が21件。県指定が 36件、市指定が79件あります。各文化財には、標

区分 種別	重文化要財	史跡	天記 念物	無文 化 形財	民文 化 俗財	旧美 重術 要品	合計		
国指定	3	11	1	0	0	6	21		
県指定	31	4	0	1	0	0	36		
市指定	54	15	0	7	3	0	79		
승 計	88	30	1	8	3	6	136		
(63.3.31現在)									

柱と説明板を 設置しており、 史跡めぐりで 訪れる人々の 便に供してい ます。

3. 史跡等の清掃・除草及び管理

番号	物件名	区分	所在地	面積
- 1	亀塚山古墳	市指定史跡	山王町一丁目	2,484m²
2	金冠塚古墳	史 跡	山王町一丁目	2,491 m²
3	今井神社古墳	市指定史跡	今 井 町	3,400 m²
4	車橋御門跡	市指定史跡	大手町二丁目	400 m²
5	酒井氏歴代墓地	市指定史跡	紅雲町二丁目	3,800 m ³
6	天神山古墳	県指定史跡	広瀬町二丁目	730 m²
7	八幡山古墳	国指定史跡	朝倉町四丁目	10,649m²
8	前二子古墳	国指定史跡	西大室町	10,956m
9	中二子古墳	国指定史跡	東大室町	10,280 m²
10	後二子古墳	国指定史跡	西大室町	12,283m²
11	蛇穴山古墳	国指定史跡	総社町総社	1,793㎡
12	宝塔山古墳	国指定史跡	総社町総社	2,916m²
13	女 堀	国指定史跡	東大室町·飯土井町	4,822m

左表の史跡 については、 地元自治会の ほか、シルバ 一人材センタ 一等に委託し て除草と清掃



けるよう心がけました。

を行っていま す。

いつ史跡を 訪れても、美 しい状態で見 学していただ

4. 文化財パトロール

地区名	指導員名					
中 央	一二三九兵衛					
総社・元総社	新木一郎治					
広瀬・山王	関根辰雄					
芳賀・桂萱	中島幸重郎					
城 南	森村伊勢雄					

市内を5地区に分け、各地区に文化財保護指導員を委嘱し、指定文化財を中心に文化財パトロールを実施しました。パトロールの状況は月に二回

程度文化財保護室へ報告され、すばやい対応をとることができました。

5. 前橋市蚕糸記念館の整備と管理

本館は、明治時代の代表的な洋風建築で、昭和 56年に県指定重要文化財に指定されました。



前橋市蚕糸記念館

翌57年から
一般公開を始め、現在に至
っています。
来館者は、年
間1万人を超

える状況です。本年度は、展示品の補修を行いました。

6. 文化財保護室改修工事

昭和62年度に、文化財保護室が社会教育課から 分離・独立し上泉町に設置されました。昭和61年 度末の第一期工事に続き、事務室の拡張とその他 の施設の改修を第二期工事として行いました。

事務の効率化と遺物の収蔵機能の両面に渡り、 大幅な充実を図ることができました。

III 整備事業

1. 総社地区歴史散歩道整備

17集では、総社地区歴史散歩道整備(以下歴史 散歩道)の全体の既要を記すとともに、総社地区 全体の総合的な整備(案)について述べました。

昭和62年度は、歴史散歩道整備の第1年次(3年計画)です。62年度の整備内容は次のとおりでした。

右頁の写真にあるような案内標識を20基、壁面 プレートを5基、路面プレートを5基、下図にあ る箇所に設置しました。

特に、62年11月22日に行われた、全国歩け歩け 大会(上州ツーデーマーチ)の歴史コースが総社 地区であったため、期日に間に合うよう歴史コー スにあてはまる10基を整備しました。下の写真のように全国から集った方々に利用してもらえました。他の案内標識等の設置は総社地区を中心に行いました。これらの設置は各箇所の地主さんの快

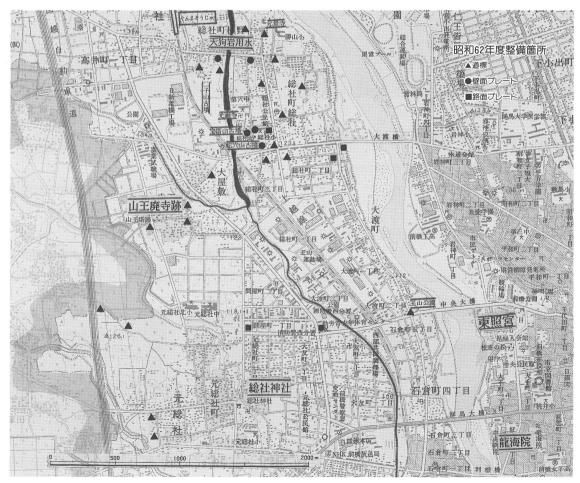


ツーデー・マーチ

い承諾なしには為 し得ないもので、 この場を借りて感 謝申し上げます。

次に63年度の整備ですが、案内標識等は62年度と同じ合計30基設置し、下図のように、総

社地区を中心として、JRの群馬総社駅と新前橋



駅からのコースの整備を予定しています。また、 歴史散歩マップも作る計画で、一目見て総社地区 の史跡と文化財が分るようなビジュアルなものを 考えています。

総社地区は、将来、対岸の利根川左岸に整備されるイベント・ホールや日本庭園などのコンベンション施設に近接した、前橋の歴史と文化を多くの人々に知ってもらうための貴重なヒンターランド(後背地)としての機能を担わせられる可能性のある地区です。

その時のために、この歴史散歩道の整備はごく 限られた整備ではありますが、将来そのような機 能を担うための条件整備として位置づけておく必 要があるものです。

総社地区には、全国的に貴重な古墳や文化財があり、また、江戸時代の城下町、佐渡街道の面影を残す町の地割や地名などが残っており、人々もまた、それらを地区の誇りとして大切にしています。このような好条件を失わず、又、有効に生かすようにして歴史散歩道を整備しなければならないと考えます。

歴史散歩道の整備は緒についたばかりですが、 総社地区の奥深く豊かな歴史環境が、訪れる人々 に湧きいでるがごとく触れ、体験できるような整 備をしたいと考えています。



2. 標識・説明板の設置及びフェンス修理

次のように、指定文化財・史跡を中心とした、標識・説明板等の設置をしました。

○標識 2基

(円満寺石造 \昭和60年3月27日に指定されたも | 阿弥陀三尊像/の。

(東照宮能装束類)昭和62年6月24日に指定された

もの。

○説明板 2基

金冠塚古墳及び前橋城車橋門跡 2基書替

○車止め 2基

前橋城車橋門跡の出入口に各々1基ずつを付け替えた。

○フェンス修理(金冠塚古墳)

金冠塚古墳の民地との境界部分の未設置箇所の フェンス及び修理箇所、合計3ヶ所のフェンスの 修理及び設置。



東照宮標柱

金冠塚古墳説明板

前橋城車橋門跡車止め

Ⅳ 普及事業

原始・古代からの歴史を有する前橋市には、数 多くの文化財が残されています。普及事業は、こ うした貴重な文化財を市民の方々に紹介し、文化 財の価値を理解していただき、保護・保存・活用 にむけての意識の高揚を図ることをねらいとして います。62年度は、次に挙げる事業を実施し、普 及活動に努めました。

1. 文化財めぐり等パンフレットの発行

文化財への市民の関心が高まり、史跡めぐり等の機会が増える中で、市内の文化財を紹介するパンフレットがさ少となり、市民の要望に答えるためパンフレットの改訂版を発行しました。

○ 文化財めぐりパンフレット

市内を旧沼田街道沿い、芳賀・桂萱、朝倉・広瀬、元総社・総社、城南の5コースに分けて作成 B4版 各1500部 計7,500部

○ 前橋市蚕糸記念館のパンフレット

A4版 16,000部



文化財めぐりパンフレット

2. 第13回前橋市文化財展

○日 時 昭和62年8月5日(水)~8月25日(火)

○会 場 前橋市立図書館2階展示室

○テーマ 『近世の武具甲胄』

一江戸時代の前橋―

教育委員会では、昭和61年度から市内に現存する武具甲冑の調査を続けてきました。62年度の文化財展は、その調査の成果を紹介するとともに甲冑を着用した江戸時代の前橋の様子を知っていただくため、武具甲冑展を開催しました。展示品は、

甲冑8領、武具70点、写真・パネル等70点でした。 市の広報・群馬テレビ・新聞等報道機関にも大きく 取り上げられ、期間中3000名を越える見学者が訪れ、好評のうちに終了しました。



文化コートを語る文化財を語る文化財を記される。 歴史を語る文化財



文 化 財 展

1中2年 関野直和さん

春日中1年 中島美智子さん

3. 第3回文化財愛護作品コンクール

次代を担う児童・生徒に文化財愛護の精神を培 あうと、夏休みを利用して文化財愛護に関するポ スターと標語を募集しました。市内の小・中学校 28校から 137 点もの優秀な作品が集まりました。 10月8日に行われた文化財調査委員等による厳正 な審査の結果、32名が入賞しました。主な賞の受 賞者は、次のとおりです。

ポスターの部

市長賞 春日中1年 中島美智子 教育長賞 東小5年 梅山 春子 春日中2年 長部 英明 優秀賞 永明小4年 須藤 正敏

永明小4年 須藤 正畝 優秀賞 勝朝倉小6年 横手 信幸 天

標語の部

市長賞 1中2年 関野 直和 教育長賞 天川小6年 丸田 智子 下川淵小6年 二宮 志麻 優秀賞 勝山小4年 秋山5づ子 天川小6年 本間 美穂

4. 柳久保遺跡群現地見学会

○日 時 昭和62年8月22日(土)·23日(日)

○会 場 前橋市荒子・荒□町柳久保遺跡群

昭和59年度より実施してきた発掘調査が62年度に終了することに伴い、いままでの成果を広く市民の方々に知っていただくため、現地見学会を開催しました。群馬県で初めて出土した旧石器(細石刃)、縄文時代の落とし穴、古墳の石室等の貴



柳久保遺跡群現地見学会

重な遺構・遺物が、実際に見学できることから、 600人を越える見学者が訪れ、文化財の普及に大いに役立ちました。

5. 第6回文化財普及講座

62年度は、だれでもが参加できる文化財講座ということで、市内に現存する文化財についての初歩的な内容の講座にしようと各分野の入門シリーズを開催しました。各回とも平均して50名前後の受講生がありましたが、最終回は前橋市立図書館と共催により、それまで学習した内容の現地学習という意味で、市内各所の「文学碑・史跡めぐり」を行いました。

講座名と講師

	日時	講座名	講師
1	10月17日(土)	石造物入門	近藤義雄氏(前橋市文化財調査委員)
2	10月31日(土)	甲胄入門	高橋賢靖氏(群馬甲胄会会員)
3	11月3日(火)	民俗入門	井田安雄氏(伊勢崎工業高校教頭)
4	11月7日(土)	建造物入門	桑原稔氏(豊田高専教授)
5	11月8日(日)	文学碑・史跡	福田紀雄(文化財保護室長)
5	11/48/5/(5)	めぐり	青木貴美子(図書館参考調査係長)

6. 第15回前橋市郷土芸能大会

○日 時 昭和62年11月14日(土) 午後2時~4時○会 場 前橋市民文化会館 小ホール

郷土芸能大会は、前橋の伝統ある郷土芸能を広 <市民の方々に公開し、保護・育成を図るととも に市民文化の向上を目的として毎年開催してきま した。本年度は、次の出演団体がみごとな郷土芸 能を披露しましたが、例年にない多くの入場者が あり大盛況でした。

○出演団体

- ・裸みごし(南町水神社氏子会)
- ・駒形の祇園 (駒形町琴平会)
- ・江田の獅子舞 (江田町保存会)
- ・総社神社祭り太鼓(元総社町保存会)

7. 教材開発事業

スライド教材『郷土の文化財』一近代・現代編一の解説書を刊行し、昨年作成したスライドと併せて、市内の小・中学校、公民館等に配布しました。既刊の二編(原始・古代編、中世・近世編)とともに広く活用されることを期待します。

8. 史跡・文化財めぐり

本年度も20団体1,000人もの史跡・文化財めぐりの依頼がありました。注目されるのは、その内の4分の1が県外からの団体ということです。前橋所在の文化財を遠方より見学に来ていただけるということですから、今後増々、文化財の普及・整備等に心がけていかなければならないでしょう。見学場所としては、市内一円が主ですが、方面として、総社・元総社地区が比較的多かったようです。

9. その他

- ○体験発掘(柳久保遺跡群・天川小)
- ○遺跡見学会(元総社明神遺跡・元北小)
- ○「広報まえばし」への執筆
- ○講座への講師派遣
- ○文化財資料の貸し出し
- ○文化財に関する問い合わせ・相談への対応
- ○前橋市中央公民館文化財展示室の展示替
- ○前橋市蚕糸記念館の展示替



文化財普及講座

V 埋蔵文化財発掘調査事業

本年度の発掘をふりかえって

本年度は、14遺跡11現場の発掘調査・芳賀団地 遺跡の整理・民間開発に伴う年間49件にのぼる確 認調査(表面調査43件・試掘調査20件)等の事業 を実施しました。

これら、市内全域にわたって行なわれた調査の 結果、群馬県並びに前橋市の古代史を解明する上 での多くの資料を得ることができました。

特に、昭和59年度から継続事業として行なわれてきた城南住宅団地造成に伴う柳久保遺跡群の発掘調査で、頭無遺跡から関東地方でも類例の少ない、県内では初めての今から約13000年前の旧石器多数を検出したことは特筆に値するでしょう。また、同遺跡では縄文時代早期の落とし穴状遺構33カ所も検出されています。

同じく下鶴谷遺跡(61年度発掘、62年度整理)

からは、完全な形で復元できたのは県内で唯一

を調査しました。天井石は取り除かれていましたが、古墳石室の残存状態は良好で文化財保護の立場から関係各課と現状保存の協議を行った結果、市立荒子小学校の校庭に移築・復元・保存される

十器など類例の少ない繩文士器を発掘しています。

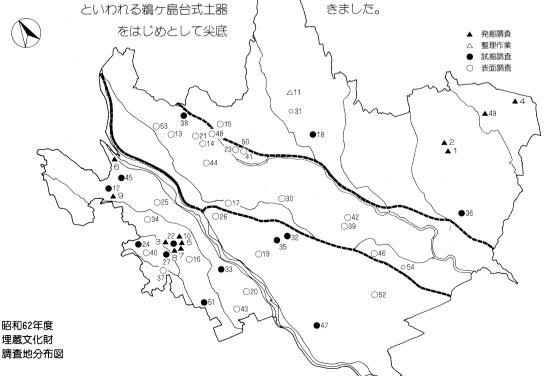
さらに中鶴谷遺跡では、古墳時代~奈良・平安

時代の住居跡総計72軒、古墳1基、その他の遺構

ことになりました。市内には国指定史跡の古墳が8ヵ所ありますが、今回のような小古墳の保存例は初めてであり、これからの文化財保護行政に多くの指標を与えるでき事でした。

内堀遺跡群(大室公園構想にかかわる事前試掘 調査)では、総延長約20kmにわたるトレンチ調査 によって、上毛野氏の本拠地と推定される大室三 二子古墳周辺の遺跡の分布状況を確認すること ができました。

> そのほか元総社明神遺跡・民間開発による 発掘調査等でも貴重な資料を得ることができました。



発掘調査一覧

番号	遺跡名	遺跡コード	地 番	調査面積m	調査原因	表面調査結果	試掘調査結果	本調査期間・備考
1	柳久保遺跡群	62 E 5	荒子町1327-6 外	12,000	城南住宅団地造成	有	有	S62. 4. 21~62. 10. 21
2	柳久保遺跡群中鶴谷遺跡	62 E 4	荒子町1293-1 外	17,300	城南住宅団地造成	有	有	S62, 4, 6~62, 9, 25
3	元総社明神遺跡VI	62 A 24	元総社町2303-1 外	1,309	区画整理事業	有	有	S62. 5. 1~62. 12. 15
4	内堀遺跡群	62 E 11	西大室町字内堀 外	369,000 (20,000)	公園造成事業	有	有	S62. 6, 29~62, 10, 31
5	堰 越 遺 跡	62 A 21	大友町3-2-4	1,500	店舗(スーパーマーケット)建設	有	有	S62, 5, 6~62, 6, 27
6	総社桜ガ丘II遺跡	62 A 25	総社町桜ケ丘1037-1	150	宅 地 分 譲	有	有	S62. 5. 18. 19
7	大友屋敷Ⅱ遺跡	62 A 26	元総社町12街区3690-1	450	店舗 (寿司店) 建設	有	有	S62, 6, 25~62, 7, 16
8	大友屋敷Ⅲ遺跡	62 A 27	元総社町12街区3691-1	210	賃貸住宅建設	有	有	S62, 9, 24~62, 10, 9
9	膏 薬 遺 跡	62 A 28	高井町1-12-2	100	遊技場兼住宅建設	有	有	S62, 12, 8~62, 12, 18
10	堰越 II 遺跡	62 A 29	大友町3-8-6、7	170	事務所兼賃貸住宅建設	有	有	S63, 2, 15~63, 2, 29
11	北 宿 遺 跡	62 E 13	西大室町1719—1 外	4,200	道路改良工事	有	有	S63, 3, 2~63, 3, 9
12	芳賀団 地遺跡		鳥取町、小坂子町、五代町	327,800	芳賀東部工業団地造成	有	有	
13			高井町1-28-10 外5筆	1,066	食庫建設	有	無	
14			荒牧町782 外4筆	1,657	宅 地 分 譲	無		
15			青柳町字寺家前120 外4筆	5,234	店舗 (花木) 建設	無		
16			上細井町字桧下1905-1 外3筆	3,155	資材置場造成	無		
17			元総社町字稲葉339-1 外2筆	1,600	ビル建設	無		
18			千代田町3-12-9	792	ビル建設	無		
19	杉山II遺跡	62D2	上泉町1702・3・4	6,524	ライスセンター建設	有	有	設計変更により工事を実施
20			六供町416 外3筆·	3,666	保育所建替	無		
21			上新田町1186-2	2,000	宅 地 分 譲	無		
22			竜蔵寺町字近戸107-1 外3筆	2,294	店舗 建設	無		
23			元総社町字屋敷3685—1	702	マンション建設	有	無	
24			下細井町字中通り396-1 外14筆	9,700	宅 地 造 成	無		
25			総社町高井字十郎134 外4筆	580	送電線鉄塔建替	有	無	
26			総社町総社13-5・8 .	2,504	店舗(衣料品)建設	有	無	
27			大手町2-6-9 外4筆	1,664	ビル 建設			立会い調査
28			元総社町2474—1	803	銀行支店建設		無	
29			小屋原町字西橋下791・2	3,096	資材置場造成	無		
30			駒形町字町尻505—1 外15筆	13,427	宅 地 分 譲	無		
31			西片貝町5-24-7 外6筆	1,452	店舗(自動車販売)建設	無		
32			五代町1198—1·2	1,407	椎茸プラント建設	無		
33	二子山前遺跡	62H2	天川町108-2 外5筆	1,563	店舗(書籍)建設	有	有	試掘調査で遺跡の概要がつかめた。
34			小相木町字村西542-1 外3筆	2,428	店舗(レストラン)建設	有	無	
35			総社町総社字昌楽寺廻堀南3151-2、3184	1,495	駐車場管理棟建設			立会い調査
36			天川原町字東下118-2 外15筆	6,485	店舗(スーパーマーケット)建設	有	無	
37	宮原遺跡	62 E 12	二之宮町1533-1 外4筆	6,526	牛乳プラント建設	有	有	試掘調査で遺跡の概要がつかめた。
38			鳥羽町字染谷8-1 外2筆	2,726	駐車場管理棟建設	無		
39			青柳町849-1 外5筆	6,370	宅 地 分 譲	有	無	
40			上大島町103-6、114	2,477	工場(木材加工)建設	無		
41			元総社町1361	1,345	宅 地 造 成	無		掘削時に立ち合いを求める
42			幸塚町68-1	1,452	宅 地 造 成	無		
43			野中町434-2 外3筆	1,723	工場(食品加工)拡張	無		
44			稲荷新田町字社巡371-1 外3筆	3,100	宅 地 分 譲	有		
45			下小出町1-32-6、32-9	1,157	マンション建設	無		
46			総社町植野字飯玉504-3 外	3,100	宅 地 分 譲		無	
47			下大島町字両家坂地内	19,773	宅 地 分 譲	無		
48			亀里町359、360-2	6,048	病院建設		無	
49			下細井町字本宿1-1 外29筆	6,073	宅 地 造 成	無		
50			下細井町字中通420 外29筆	20,587	宅 地 分 譲	無		
51			前箱田町字村西154-2 外6筆	1,442	マンション建設		無	
52			西善町611-3・4	1,278	工場建設	無		要試掘
53			荒牧町字八幡前593-4 外8筆	2,379	自動車修理工場	無		
54			下大島町字宿下1155-1 外14筆	14,364	自動車修理工場	無		



遺跡位置図(国土地理院・5万分の1・「前橋」)











事 業 名 城南住宅団地造成工事(前橋 工業団地造成組合)

所 在 地 前橋市荒子町1327―6ほか

調査期間 62年4月21日~62年10月21日

担当者前原 豊・関根吉晴

面 積 12,000 m²

調査の経緯 58年度分布調査、59年度試掘調査が実施され、本調査は59~62年度までの4ヶ年にわたって実施された。調査成果は『柳久保遺跡群I~Ⅷ』の発掘調査報告書に掲載されている。

立地 赤城山南麓の標高110mの丘陵性台地に立地し、沖積地との比高は3m。

遺構・遺物

旧石器時代 第 I ~III文化層の3枚の

文化層が検出された。第I文化層からは 珪質頁岩で製作された細石核1、細石刃 122、荒屋型彫刻刀6、搔器、削器、彫 刻刀削片、細石核調整剝片、剝片等の石 器が約430点出土。第II文化層からは黒 色頁岩と黒曜石製のナイフ形石器2点が 出土。広域火山灰AT層下の第II文化層 から黒色安山岩製のナイフ形石器2、剝 片が数点出土。

縄文時代 土 541、集石7、石器配置 遺構2、焼土跡4、落ち込み12の他に早 期押型文、沈線文土器・石器等が出土。

古墳時代 石田川式期の住居址1。

平安時代 住居址1、井戸1、粘土採掘坑1、土坑3、炭窯3。

事業名 城南住宅団地造成工事(前橋市工業団地造成組合)

所在地 荒子町中鶴谷

調査期間 昭和62年4月6日~昭和62年 9月25日(発掘調査)

担当者 千田幸生・肥田順一

面 積 18,700㎡

調査の経緯 昭和59年度から始まつた発掘調査も4年目の最終年度となった。 立地 赤城山南麓の標高105~110mの台

地上にあり、北西側から南東側へ傾斜している。

遺構・遺物

旧石器時代 検出されなかつた。

縄文時代 土坂14基と前期・中期を中

心とする土器・石器を検出した。

弥生時代 後期土器片が数点検出された。 遺構は検出されなかった。

古墳時代 住居址17軒と古墳1基を検出した。住居址・古墳共に後期後半から 末葉に位置づけられる。古墳は円墳で横穴式石室を有する。

奈良・平安時代 住居址44軒、掘立柱建物址9棟、井戸11基、炭窯1基、棚列1列、溝1条、土城1基を検出した。住居址は古墳時代から続く集落である。掘立柱建物址・井戸・棚列は出土遺物は少ないが、集落址に併なうと考えられる。他に時代不明の住居址14軒、土城58基、溝2条を検出している。

事業名 前橋都市計画事業元総社(西部 第三明神)地区土地区画整理事 業(区画整理第一課)

所在地 前橋市元総社町2303番地の1他 調査期間 62年5月1日~62年12月15日 担当者 駒倉秀一・加部二生

面 積 1277㎡

調査の経緯 区画整理第一課より、上記 事業に伴う調査依頼があり、昭和57年以 来発掘調査が行われてきている。

立地 榛名山火山斜面が前橋台地へと移行する牛池川両岸に広がる台地上に8本のトレンチ調査を行った。

遺構・遺物

縄文時代 前期~後期の土器片を確認。

古墳時代 前期〜後期の住居址を多数 検出している。前期の住居址からは樽式 土器も出土した。後期の住居址は50軒以 上に及び、覆土中にFAを包含する住居 址も確認した。特筆されるのはこの時期 の畑を発見したことで、FA直下の畑と FA降下後の畑を別の地区で検出した。

奈良・平安時代 住居址は殆んどが10 世紀代の所産であった。他に奈良時代の 井戸1基、断面逆台形の条里に関連する と思われる溝を1条調査している。

中近世・蒼海城の堀址を2ヵ所で調査。 カワラケ、石塔類、古銭等が出土した。 注目されるものに、矢倉に伴う鯱瓦がある。

4. 内堀遺跡群











事業名 仮称大室公園整備事業(公園緑地課)

所在地 前橋市西大室町字内堀ほか4字 調査期間 62年6月29日~62年10月31日 担当者 園部守央・桑原昭

面 積 200,000㎡ (369,000㎡のうち) 調査の経緯 昭和62年5月11日前橋市長 藤井精一より教育長岡本信正あてに確認 調査依頼が提出され、前橋市埋蔵文化財 発掘調査団が市費によりトレンチ掘削の 方法で確認調査を行った。

立地 赤城山南麓の標高120~135mにあ り、丘陵地、谷地、河川、沼、古墳と起 伏に富み、赤城山を遠くに望む風光明媚 な地区である。

事業名 民間開発(店舗建築)

所在地 前橋市大友町三丁目2-4、2

調査期間 昭和62年5月6日~6月27日 担当者 折原洋一(山武考古学研究所) **面 積** 1.500㎡

調査の経緯

62年1月8日表面調査実施、同1月28日試掘調査実施、同5月6日本調査実施立地 本遺跡は県庁より西方1.5㎞の利根川右岸上に位置する。本地域は比較的平坦な地形を有し、浅い谷と低台地より構成され、この低台地上の一画に調査区が所在する。また、調査区の南東部は浅い谷へ連なる斜面を成している。

 事業名
 民間開発(建売分譲住宅建設)

 所在地
 前橋市総社町桜が丘1037番1地

 先

調査期間表面調査 昭和62年4月21日試掘調査 昭和62年4月30日発掘調査 昭和62年5月18~19日

担当者 遠藤和夫・新保一美 **面 積** 3303㎡(発掘面積50㎡)

調査の経緯 開発事業者 立見一彦氏より開発計画に伴う試掘調査依頼が提出され、調査の結果住居址一軒を検出した。これにより開発事業者と協議の結果、前橋市教育委員会直営で発掘調査を実施することとなった。

遺構

繩文時代 住居跡34軒、住居跡か49軒。 **弥生前・中期、古墳後期以降** 住居跡 46軒、住居跡か56軒。

弥生後期~古墳前期 住居跡14軒、住居跡か12軒。

古墳中・後期 住居跡92軒、住居跡か 108軒。

古墳時代 備木遺跡北地区より棚列の 柱穴19個と溝1条確認。

遺物

縄文土器992点・3個体。弥生土器620点・2個体。土師器18322点・37個体。 須恵器160点・1 個体。ほか埴輪・石器・陶器等。

遺構・遺物

繩文時代 中期の加曽利E式土器および石器が出土している。土器は全て破片で、磨滅の著しい例が多い。遺構の検出は皆無である。

弥生時代 なし。 古墳時代 なし。

奈良・平安時代 多量の B 軽石を覆土に含む遺構群として、溝6条、土城14基井戸4基が検出されている。 B 軽石を覆土に含まない遺構として、住居址18軒、溝10条、土城50基以上が検出されている。これら遺構群の中でも、湧水点を有す溝と群集して存在する土城の性格には興味がもたれる。

立地 本遺跡は前橋市の西北端、群馬総 社駅の北約1.5kmの榛名山東麓が前橋台 地へ移行する部分の舌状台地上に所在す る。南方50mには昭和59年に発掘調査を 行った総社桜が丘遺跡が位置する。

遺構・遺物

奈良・平安時代 旧建物のため調査地の大半が攪乱を受け、わずかに住居址一軒のみが検出されたにとどまつた。総社桜ケ丘遺跡との距離からして、この住居址は前記遺跡と同一集落内にあつたとも考えられる。住居址の残存状態は壁高10㎝と悪く、わずかに須恵器高台塊4点が出土、うち1点は「田」の字と思われる墨書があるが、上半部が欠損している。













事業名民間開発((有)船寿し店舗建設)所在地前橋市元総社町12街区3691-1

調査期間 昭和62年6月25日~7月18日 担当者 遠藤和夫、新保一美 (市教育 委員会)、金子正人、白石光男 (スナガ環境測設株式会社)

面 積 450㎡

調査の経緯 前橋市宅地開発指導要項に 基づき事業者(有)船寿しの店舗建設工 事に先がけて前橋市教育委員会に試掘調 査の依頼があり、その結果、溝、井戸跡 等が確認されたため事業者と教育委員会 が協議調整の上調査することになった。 立地 棒名の裾野に広がる前橋(洪積) 台地を榛名山から流下する数条の河川 (牛池川・滝川) に開析され、赤城榛名 の裾合谷から関東平野に入り始める利根 川の右岸で上野国総社神社から400m東 に位置する。

遺構・遺物

溝6条・地下式土城1基・井戸址1基 井戸に伴う遺構1基ピット状遺構9ケ所 溝は西から東にかけて枝分かれして走行 し、最大幅4m最小幅は1mである。地 下式土城は地下室部が2.1m×2.1mの方 形に造られており、中世の「やぐら」や 「土倉」と類似する。井戸址を囲う状態 で礎石を伴う遺構が確認された。

事業名 民間開発(共同住宅建設)

所在地 前橋市元総社町12街区3690-1 調査期間 昭和62年9月21日~10月15日 担当者 遠藤和夫・新保一美 (市教育 委員会)・金子正人・白石光男 (スナガ環境測設株式会社)

面 積 210㎡

調査の経緯 大友屋敷III遺跡は事業者鷹 尾基久子氏による共同住宅2棟の建設の ため前橋市教育委員会が埋蔵文化財確認 調査の依頼を受け試掘調査を行った。そ の結果、住居址、溝等が確認されたため 事業者と教育委員会が協議調整の上調査 が行なわれることになった。

立地 榛名の裾野に広がる前橋(洪積)

台地を榛名山から流下する数条の河川 (牛池川・滝川) に開析され、赤城榛名 の裾合谷から関東平野に入り始める利根 川の右岸で上野国総社神社から400m東 に位置する。

遺構・遺物

古墳時代 住居址3軒

奈良・平安時代 住居址2軒

古墳時代の3号住居址はほぼ正方形でカマドは東壁中央部に配置され良好な遺存状態で確認された。遺物も坏・甕等15点が復元可能な状態で検出されている。その他に大友II遺跡と関連すると考えられる溝が1条確認された。

 事業名
 民間開発(遊技場施設建築)

 所在地
 前橋市高井町1丁目12番乙地先調査期間

 調査期間
 表面調査 昭和62年9月30日

 試掘調査 昭和62年11月5日

 発掘調査 昭和62年12月8~

18日

担当者 遠藤和夫・新保一美

面 積 4287㎡の内100㎡

調査の経緯 開発事業者 朴世完氏より 開発計画に伴う試掘調査依頼が提出され、 調査の結果住居址1軒を検出した。これ により開発事業者と協議の結果、前橋市 教育委員会直営で発掘調査を実施するこ ととなつた。

立地 本遺跡はJR新前橋駅より北北西

4㎞の前橋台地上に位置し、榛名山水系の芋豆頭川と八幡川にはさまれた舌状台地上に所在する。北北西130mには昭和58年に発掘調査の行われた柿木遺跡がある。

遺構・遺物

古墳時代 住居址一軒を検出した。この辺はかつて沼沢地であったとのことを裏付ける如く、盛土がなされていた。その中に須恵器大甕・長頸壺等の破片や繩文土器片に至る遺物片が無数に混在している。住居址の残存状況は、壁高8㎝と良くなく、柱状炭化物が床面に亘っており、出土遺物は少く、床面直上より石田川式土器片、高坏脚部また住居址中央部より枕状の長方形の石が出土している。

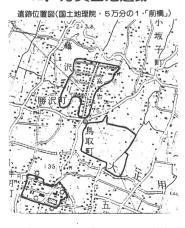








12. 芳賀団地遺跡



事業名 民間開発(共同住宅建設)

所在地 前橋市大友町 3-8-6 3-8-7

調査期間 昭和63年2月15日~

昭和63年3月31日

担当者 遠藤和夫・新保一美(市教育委 員会)・金子正人・白石光男(ス

ナガ環境測設株式会社)

面 積 約170㎡

調査の経緯 開発行為者後藤ノボル氏より共同住宅建設に伴う試掘調査の依頼を受け昭和63年2月6日に実施した結果奈良・平安時代の住居址が確認された。

このことから開発行為者と充分協議調整を計り、依頼を受けて建設工事により 遺構が損われる部分について発掘調査す るに至った。

立地 本調査地は、上野国総社神社東約500m付近に位置し、標高113~114mの前橋台地上に立地する。

遺構・遺物

本遺跡は平安時代の住居跡6軒と土塩2基が検出された。住居跡は重複と攪乱により明確さを欠いたが、6軒中2軒は住居址、カマドとも比較的良好な残存状況であった。土塩は出土遺物がなく時期決定の資料に欠ける。

出土遺物は国分期の物が多く、完形品は、塊3点、坏2点、甕1点が検出された。

 事業名
 国庫補助(道路改良工事事業)

 所在地
 前橋市西大室町1719-1~562番

 調査期間
 表面調査
 昭和63年2月5日

 発掘調査
 昭和63年3月3~

 9日

担当者 遠藤和夫・新保一美

面 積 1307㎡ (発掘面積120㎡)

調査の経緯 前橋市長藤嶋清多より市道 556号線の改良工事に伴う発掘調査依頼 が提出され、調査の結果住居跡2軒・井 戸跡1基を検出した。これにより前橋市 土木課と協議の結果、前橋市教育委員会 直営で発掘調査を実施することとなった。 立地 本遺跡は前橋市の東端部、西大室 町の産泰神社より100m程東へ寄った赤 城火山斜面上に立地する。遺構は産泰神 社周辺に広がる丘陵と大室神社北方に広 がる丘陵の中間地に検出された。両丘陵 が形成する谷地状部分は、確認調査の結 果、かつては河川であったことが窺われ、 ローム地山は、わずかに遺構確認部分だ けに認められたにすぎなかった。

遺構・遺物

奈良・平安時代 住居跡2軒は、いずれも小規模土地改良と耕作により、残りが悪く、床面までの深さは約10㎝と20㎝弱であり、遺物も小破片のみを出土するにとどまつたが、壁面から外部に作り出す竈形式であることと、床面直上の遺物片などから時代判定をした。

事業名 芳賀団地遺跡発掘調査整理事業 62年度事業 第2巻刊行のための整理作 業第4年目(芳賀東部団地遺跡谷西分)、 第3巻(芳賀東部団地遺跡縄文時代編) 刊行のための整理作業1年目。

第2巻に係る作業。執筆者からの素原稿と図面の照合を行ない、食い違いの修正を行なった。この作業により確定した遺構平面図に基づき全体図の作成を行なった。また、遺構相互の切り合い・新日関係についても原稿・図面の修正を行なった。

ピット、溝については、まとめ執筆担 当者も交えて検討、確定の作業を実施し た。 確定した原稿、図版、写真については レイアウトにあわせて台紙に貼り、11月 に印刷の発注を行ない、年度末に納入さ れた。

第3巻に係る作業。年度半ばより、第3巻の遺構・遺物の整理作業を実施している。遺構については整理担当者による全体図作りの作業と、遺物については細分類に先立っての接合と復原を実施した。

63年度は、63年3月の編集委員会の審 議に基づいて、原稿執筆を依頼する予定。 12月までに脱稿し、64年度当初に刊行の 予定。作業としては、遺構のデータ表作 りと、遺物の実測・観察表の執筆を行な う。

Ⅵ 文化財調査事業

文化財調査事業は、前橋市文化財調査委員による調査、民俗文化財調査委員会による民俗文化財総合調査、職員等による各種文化財調査からなっています。

調査は年間でのべ80日ほど実施し、その内容は、 文化財調査報告書、市広報等で市民に公表してい ます。

1. 元景寺文化財調査

○名称 気雲山春光院元景寺

○所在 前橋市総計町植野字東新井150

○住職 大滝 昭雄

○宗派 曹洞宗。双林寺末。本尊釈迦牟尼仏。

初代総社城主秋元長朝が天正18年(1590)父景朝 菩提のため、法現寺を廃して創建したと伝えます。

石高20万の朱印地で、幕府からの朱印状も残されています。

建造物は、本堂、庫裡、位牌堂、鐘楼があり本堂は棟札によれば、延宝5年(1677)、勢多郡八崎村(現北橘村)萩原長左衛門尉命長が建てたとあります。幕末、17世澧洲の代に建物の普請を行い屋根の改修をしています。元は萱葺きでしたが、現在は瓦葺きに改められています。

秋元氏位牌堂は文政11年(1829)、鐘楼は延享2 年(1745)の建造です。

文書類は1359件、什物類は4件を数えます。(詳細は日録参照のこと)

寺歴を知る資料は、大正頃秋元家家譜を作るため秋元家家令が資料を持参していきました。その後関東大震災により失われたとのことで、時候のあいさつ、法要の連絡文が残されています。その中では天狗岩堰絵図、秋元氏墓地絵図、羽階権現関係文書、朱印状が注目されます。

境内には、石造地蔵菩薩坐像(応永の石仏応永 28年造)天明の浅間焼供養塔、羽階権現と共に、 市指定史跡秋元氏墓地があります。 調査は9月7日より10月1日まで13日間実施しました。その中心は文書調査で、県史編さん室調査資料を参考にさせていただきました。



天狗岩堰絵図より天狗岩の付近

2. 民俗文化財総合調査

民俗調査は、今年度桂萱地区を対象地区として実施しました。

桂萱地区は、赤城南面の農村地帯ですが、市街地に接する西部から宅地化が急速に進んでいます。

全体に民俗調査が入っていない地区ということで、これまで知られていなかった内容について、 貴重な話を聞かせてもらうことができました。

十三念仏、虚空蔵、大胡城のお姫様の伝説等があげられますが、具体的な内容は、63年度に刊行される前橋市民俗文化財調査報告書第1集を参照していただきたいと思います。

民家調査の中で、上泉郷蔵の調査を行い、内部 に収納されていた回り舞台について確認された点 が特筆されます。

調査は、8月6日~9日の夏季集中調査と、10 月22~24日の補充調査のほか、調査員個々が、入 る個別調査の形で実施しました。

3. 文化財調査

神明宮所蔵の甲冑「金彩紺糸威最上胴具足」

この甲冑は、旧前橋藩主「酒井雅楽頭」が着用 したと伝えられる物で、酒井家が姫路に転封する にあたり、神明宮に奉納され宝物となったもので す。

甲胄全体が金彩となって、一見大変きらびやか な作りとなっていますが、総体の重量を10キログ ラム以内に押え、動きやすく、実戦を主眼に考え られたつくりになっています。

当時でも金は貴重であり、全体に金彩が使われ た具足は数が限られます。

この甲冑の金彩、前立、脇立、貫、布地等から みて酒井家の品と考えられます。

調査は昭和62年6月20日に実施しました。



神明宮所蔵の甲冑

その他の調査 市内の芭蕉句碑 の調査

幸塚町、文京町 上泉町などに所在 する句碑について 調査、資料収集を 行ないました。

本城氏の墓調査 市内紅雲町一丁 日に所在の長昌寺 で、本城氏と刻ま れた墓石が新たに 見つかったため、 調査を行つた。

寛永11年に亡くなった人物ですが、該当する人 物については、調査中です。

元景寺文書目録

文書番号	表 題	年 代	差 出	宛 先	数	備考
1	双林寺由緒	長禄2年より慶長 11年まで			1	慶長10年以後詳しい
2	血脈授与式本	明和3年			1	気雲山元景寺梅光
3	双林寺より御触留書	寛延4年5月より 宝暦6年11月			1	
4	御公儀領主僧録御触之写覚	延享3年~			1	
5	御触写	寛政2年12月			1	
6	公儀より諸宗へ御触達	文政13年3月			1	元景寺
7	御触写	卯10月			1	
8	秋元摂津守へ継目御礼記 置	延享1年			1	安永4年12世大道の継目
9	秋元家過去三人控	寛政4年・文政7年			1	玄英代
10	18 E1	文化13年			1	表門と杉並木吹倒
11 — 1	御霊堂再建立之砌願書幷 御役人中様より御引合御 交通幷御見分仕様帳幷絵 図面相添	文政11年			1	
11-2	御霊堂御修覆注文帳	文政11年6月	to the second se		1	元景寺
12	春光院殿·光厳院殿·心 窓院殿弐百五十回忌、弐 百回忌御廊所御修覆願書	文政11年			1	,
13	当寺開基春光院殿百五十回忌弐 百回忌弐百五十回忌諸事控	天保7年			1	上中下3冊之内上
14	当寺開基春光院殿天明六 年式百回忌御法事	天明6年1月	L		1	上中下3冊之内中
15	当寺開基春光院殿天文丙 辰百五十年忌その他御法事	天文1年			1	上中下3冊之内下
16	秋元但馬守両寺御廟参諸 事控	弘化4年2月			1	当山15世
17	朱印状書替奉行所窺写	安政6年			1	指揮を受候記録
18	御朱印御改御公用御触留 記録	安政6年6月			1	元景寺17世
19	心窓院様御霊前代々御備 へ記録	安政6年			1	同上
20	諸堂大破	文久2年11月			1	普請奉行妹尾友之進御見分修覆 終了記置
21	淡島明神再建	明治1年10月			1	17世港州
22	御先君様より御直状留書	1月			1	正月及寒暑御吉凶等

文書番号	表 題	年 代	差出	宛 先	数	備考
23 *	御光君様御年回控	+ 10	<u> </u>	96 76	1	旧記を改控
24	大隆院殿御遺物御納控	文化9年			1	17代澧悔
25	秋元但馬守様御不例	X100 +			1	使僧御悔幷差上物諸事控
26	秋元但馬守様御家督控				1	婚礼、養子
27	御朱印幷僧録状之写	延宝8年1月			1	上州白井双林寺
00	上野国、越後国御朱印地	売欠47年0日				20**
28	寺院御年礼帳	享保17年3月			1	双林寺
29	御朱印頂戴覚書	宝暦13年10月			1	放山代
30	御朱印御改記録	天明7年4月			1	元景寺大道代
31	御朱印書上帳	天保3年1月			1	元景寺
32	御朱印写	寛永3年から天明			1	
		8年				
33	御朱印御書替御触写	天保9年1月			1	元景寺
34	御朱印写	寛永3年から天保			9	
		10年				
35	同上	同上			1	
36	同上	寛永3年から安政			10	
0.7	かり仕て口がりつたーノー共和国を中である	2年9月			- 1	徐林辛 E 土
37 38	御朱印御改二付歎願書下案	慶応4年7月 安永4年1月			1	館林善長寺 11世放山代
39— 1	公儀御年始勤方	安永4年1月			1	元景寺大道代
39-1	秋元摂津守様御屋敷勤方控	女水/牛1月			- 1	九京廿八連11
39-2	江湖送行後秋元摂津守御 房敷勘方地	安永7年8月		,	1	· ·
	屋敷勤方控 若殿様御目見御祝儀使僧					
40	右殿休仰日見仰が譲せ信 勤方	安永10年1月			1	
	型がり 若殿捨三郎様初御目見御					
41	祝儀勤方	寛政5年8月			1	大道代
42	公儀御年始勤方筆記	寛政7年1月			1	同 上
	殿様四品御仕官御祝儀幷					
43	年始御祝儀二付勤方筆記	寛政11年1月			1	
	本田御隠居了智院様御逝					
44	去勤方控	文政2年8月			1	
	秋元但馬守様久朝姉御逝					
45	去勤方控	天保6年7月			1	
46	御公儀御年始出勤番控	安政5年3月			1.	附安政4年寛政12年
47	本山勤方定書				1	上野国群馬郡元景
48	古証写	延宝8年			1	四箇国曹洞宗法度
49	古証之写	同 上			1	
50	双林寺与信州松代長国寺	工体 4 年 6 日		-	4	+====
50	一 件	正徳1年9月			1	古証写
51	覚	正徳 1 年12月			1	龍隠寺との難題答
52	寺社奉行江御願控書	延享3年			1	白井泰運代
53	吟味願	寛保1年10月				
54	勧学修業道場山法申付願	文化8年				
55	三箇寺より御奉行所へ書上候写					本書双林寺二有之
56	新田町与境目論一件書類					17世澧洲改之置
57	御詫歎願書之写	慶応3年3月			1	瑞雲寺
58	御先祖(秋元氏)書	(享和3年)			1	
59	御廟所御門御普請積帳	宝暦9年8月			1	御玉垣など費用記入
60	心寬院殿御玉垣新造仕様帳	寛政11年5月			1	
61	双林寺修覆講出入一件	寅2月			1	23ケ寺出入一件
62	心窓院様御廟所玉垣御門	文政11年			1	13世玄英
	御入用積帳					
63	春光院、光厳院様御廟所	文政11年8月			1	同上
	玉垣御入用積帳					
64	神明山瑞雲寺修覆料金取	天保3年11月			1	寺附名主彦左衛門
	調帳 春光院、光厳院様御廊玉	7 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -				
65	春光院、光敞院様御郎玉 垣御入用積り帳	天保7年1月			1	元景寺
66	御廊御玉垣新規石仕立書上	天保7年5月			1	石工徳三郎
67	御歌山本垣新規1011年 御霊堂御屋根板膏積立控帳	<u>入味/牛5月</u> 同 上			1	大工龍八
	御廊新規御玉垣御門扉積					/ \ 195/ \
68		同上			1	
69	御霊屋家根板替入用積帳	天保12年8月			1	ねずみ巣につき取調
70	御霊屋御修覆引合文控帳	安政5年			1	漫洲記
	天正15年以来境目樹木施					
71	主書控	安政6年3月			1	澧州改
72	71と同一	同・上			1	同 上
	惣社元景寺表門屋根通用				1	江戸普請方
73	門屋根修覆之控	嘉永2年8月			1	江戸首萌り
74	73と同一	同上			1	6 L
75 —83	永平寺勧化帳	嘉永5年6月			9	野馬塚、新田、すがらす、粟島、
/5-83		赤水シ牛り月			9	西国分、立石、鍛冶、植野
84	前橋御郡代江名主共請答	安政2年3月			1	名主治太夫、他
J-4	案文写	ス級と午3月			'	
85	永平寺開山起元景寺檀中	慶応1年6月			1	
	勧化帳					
86	能本山五百回御忌勧化帳	慶応1年7月	1		1	新田町檀中

		-	15			-	4-	Meter	
文書番号	表題	年	代	差	出	宛	先	数	備考
87	天正15年御取立以来境内 江樹木植込致し呉候名前 改記置申候事	慶応3年9	5月					1	17世澧洲
88	淡島再建願書	元治1年8	5 🗆	澧洲				1	
89	御霊家償諸入用下書	7070 1 4	2/3	732711				1	
90	御霊堂御普請仕用帳							1	元景寺
91	羽階宮再建勧化帳	辰フ月						1	元景寺世話人
92	同上	同上		-			_	1	同上
	心窓院様御廊所玉垣御門								1-5
93	助入用積帳							1	
94	春光院様御廟所御玉垣御門							1	
	上州惣社元景寺廟所玉垣			1					
95	仕様							1	普請方
96	御廟所御玉垣材木積立帳	_						1	
		-							大本山鐘楼再建勧化龍穏寺宿刹
97	双林寺より御触達	卯6月						1	助成金の事
98	御霊堂再建仕様入用帳				_			1	大工手間賃
99	御寺領地方帳	寛永3年5	5 🗎					1	西上州群馬郡惣社元景寺
100	御寄附畑取帳	弘化2年8		+		春窓院		1	
100	元景寺諸什物幷地産田畑	JA10 2 4-9	273	1		-B-7CAP7C			
101	収納高諸事取調帳	嘉永フ年	7月					1	元景寺及末寺担中惣代
102	寄進物之帳	安永4年3	S A	二曲酒	5右衛門			1	
103	献上物進上物覚帳	23/443		二去版」	111#IFJ			1	
103								1	元景寺
104	惣社御廟参二付御備物達書 江湖会二付志連名	CD TE O CE 4	^=			-		1	元景寺
106		安政2年1	U)-J					1	元景寺化主記
	江湖会二付志連名	同上							同上
107	光厳院殿碑名	正徳5年9	9 F3	1				1	
108	光厳院殿心窓院殿碑銘	同上						1	武州川越城主伊賀守藤原喬房
109	上棟銘	延宝5年						1	当時六世代客殿再建棟上之銘
110	御公裁断状之写	寛保3年6			_			1	龍穏寺与補陀寺本末出入之節
111	古証文之写ほか	元禄8年3						1	大中寺他
112	当寺開山月江四派附	寛永13年6	3月					1	当寺14代鉄尊叟
113	諸事控御願書御返事御文 通留	安政5年6	5月,					1	17代澧洲記置
114	西南上州曹洞諸寺院	寛政8年	1月					1	大泉
115	従往古寺社奉行方御役被	延享4年3	3 🗇					1	
110	仰付年号月日付帳	处字 4 4 5	<i>> F</i>					'	
116	同上	明治2年1	1月					1	西通上青梨子村
117	秋元但馬守御屋鋪入院継	寛政11年						1	元景寺13世代
117	目披露	見収口牛						<u>'</u>	九泉子15世10
118	施餓鬼料金取調帳	天保3年1	1月					1	上青梨子村世話人
119	能州大木山五百回忌化帳	元治2年2	2月					1	
	青梨子村瑞雲寺淡島明神								
120	二付御録山より御察当御 達書諸事控	慶応3年3	3月					1	
121	黒水村賢聖寺江申渡	4月						1	富岡八郎左衛門
122	王政御一新二付旧幕より 頂戴御朱印御領主江可差 出候様御達二付明治元年							1	
123	十月三日守護指参書事控 能州諸獄山総持寺禅師天	寛永7年8			_			1	普蔵院外在判
123	下之大僧禄帳	見小/牛(
124	覚	延享2年1	2月					1	各国禅寺末寺書上双林寺関係寛 永19年写の写
125	双林寺方丈江諫言状	寛政2年	1月					1	七ケ寺連印
126	上総小糸天南寺・妙喜寺	元禄7年1	1 🖂					1	天南寺記
120	両刹古記	76138 / 44-1	17-3				1	'	\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\
127	因縁法話集	慶応3年1	1月					1	元景寺澧洲写(全)
128	副達	辰1月						1	香・資材勧化
129	双林寺御証	庚申6月						1	総寧寺長朔和尚
130	江湖興行留書	寛延4年4	4月					1	秋元但馬守御追福供養
131	羽階大権現再建二付由緒 火災控	慶応4年							幕末火災軒数
132	釈迦如来栴檀瑞像三国伝 来略緣起							1	五合山清涼寺(山城国嵯峨)
133	春光院様御法事	12月			_			1	元景寺
134	御代々御寄附之品覚	享和1年4	4月					1	気雲山
135	上野国群馬郡青梨子村瑞雲寺 初法幢夏安居清衆打給	文久1年4			2			1	
136	青梨子瑞雲寺初法幢夏安 居清衆打給	文久1年4	4月					1	
137	上野国群馬郡元総社村釈迦尊 寺初法幢冬安居清衆打給	文久2年1	0月					1	釈迦尊寺
138	光厳寺焼失添翰	-			_			1	御念合龍以来日金監
138	大隆院七回記							1	恵戒記
140	休弦殿逝去之控	安永4年6	3 🗇	1	_			1	気雲山大道代
	秋元氏御城二而阿部織部			+					
141		安永9年8	3月					1	使僧派遣勤方
	MXX/JWLA	L		L					

******	= 85	Æ 4	±	* #	WH.	135
文書番号	表 題 秋元但馬守永朝御入棺入	年 代	差出	宛 先	数	備 考
142	用帳	文化フ年フ月			1	現住玄英代
143	大隆院殿—周忌御法要書 翰返書控	文化8年7月			1	玄英代
144	第十第十—第十二世和尚 年忌筆子覚	文化12年8月			1	
145	大隆院殿十三回忌控書抜	文政5年7月			1	元景寺
146	大隆院殿十三回忌法事控帳				1	
147	大隆院殿十七年忌諸事控帳	文政9年7月			1	元景寺
148	光厳院・心窓院御両所法 事文控帳	文政12年			1	玄英
149	大隆院殿二十五周年忌諸事控帳	天保5年6月			1	元景寺
150	春光院殿二百五十回忌諸色筆記	天保7年1月			1	玄英記
151	春光院様御年忌御寄附物帳	天保7年1月			1	元景寺
152	春光院二百五十年忌二付 諸色入用帳	同上			1	
153	殿様初入部法事覚	天保10年7月			1	第15代
154	照尊院殿二百回忌法事控	天保12年10月			1	元景寺副寺15代(表紙欠落)
155	照尊院殿二百年忌諸事控	同上			1	筆記方大光
156	大隆院殿三十三回忌御法 事諸事控	天保13年7月			1	筆記方白隠
157	誠心院殿百回忌諸用留	天保14年2月			1	当山15代副寺控
158	誠心院殿百回忌諸事控帳	同上			1	<u> </u>
159	休翁様逝去之控	弘化4年10月			1	
160	享徳院殿七回忌諸用留	嘉永6年10月				元景寺遷化二付
161	大隆院殿御七回忌	6月			1	諸事控覚帳
162	化城院御死去	未6月			1	江戸使僧勤方
163	双林寺江隠居願等				1	勤方覚
164	諸事御名代扱方之控				1	法事等入用控
165	御代参帳	宝暦5年1月			1	御法事など
166	同上	正徳3年1月			1	元景寺
167	表門屋根瓦請取帳	文政2年6月			1	
168	表門屋根請取控帳	辰7月		14-34-37-37-38-38-38-38-38-38-38-38-38-38-38-38-38-	1	Na107に同じ
169	表門棟上祝儀控	文政3年8月			1	元景寺
170	新古御霊堂普請幷入用控	文政11年				御廟所玉垣
171	御霊屋再建之為財木諸色 控等	文政11年2月			1	大工庄助
172	御末山瑞雲寺修復料幷施 餓鬼料取調帳	弘化2年9月			1	瑞雲寺名主幸助
173	御普請方諸控帳	嘉永2年8月			1	別寺控
174	元景寺御普請目論見仕様	文久1年6月			-1	普請方
175	能州大本山二代尊五百回 遠忌観化帳	***************************************			1	高井村
176	気雲山祠堂金幷田畑山	宝暦7年11月			1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
177	屋鋪書翰案文控	宝暦10年			1	気雲山現住梅光代改之
178	気雲山祠堂金幷田畑帳	安永5年			1	現住大道代
179	大隆院様御尊牌納控帳	文化9年5月			1	元景寺玄英代
180	畑年貢桑金帳	安政5年5月			1	7 0.31 0.33 7 1 0
181	双林寺一件	宝暦5年7月			1	双林寺後住龍穏寺との関係
182	双林寺配下出入二付三ケ 寺尋向返答	宝暦5年			1	元景寺控
183	宝篋印塔御建立之儀御願	(享和2)8月			1	心窓院御宝塔
184	文通控 宝篋印塔—件屋敷書通案紙	享和3年7月			1	元景寺玄英代
	(A)				-	
185	差上度書翰幷御返書	文化3年7月				天景寺現住玄英代
186	若殿信三郎様初目見御祝 儀勤方	文化4年12月			1	玄英代
187	大隆院様御膳部願之控	文政7年2月			1	
188	秋元但馬守様石燈篭・水 監諸色控帳	8月			1	現住玄英代
189	秋元但馬守様御養子代参 披露祝儀勤	天保2年8月			1	元景寺玄英代
190	春光院殿二百五十年忌御 代香幷若殿様御文通	天保7年11月			1	御名代矢貝旗之助殿
191	殿様御参諸用事控	弘化5年3月			1	下宿帳館林宿見方関根裕五郎
192	御判物御改正上京諸控	慶応4年7月			1	受封判物取集め方
193	先住東伝智向より後席交 代諸控	明治4年9月			1	
194	元景寺朱印状	寛永13年11月9日			1	大猷院家光朱印
195	同上	寛永3年3月26日			1	台德院秀忠朱印
196	同上	寛文5年7月			1	厳有院家綱朱ED
197	同上	貞享2年6月			1	常憲院綱吉朱印
198	同上	享保3年7月			1	有徳院吉宗朱印
199	同上	延享4年8月			1	惇信院家重朱印
200	同上	宝暦12年8月			1	浚明院家治朱印
201	同上	天明8年9月			1	文恭院家斉朱印

文書番号	表紙	年 代	差出	宛 先	数	備考
202	元景寺朱印状	天保10年9月		,	1	慎徳院家慶朱印
203	同 上	安政2年9月			1	温恭院家定朱印
204	同上	万延1年9月			1	昭徳院家茂朱印
205-221	元景寺朱印状写				17	
222	永平寺住持職事	寛保4年2月18日			1	陽玄和尚
223	総持寺住持職事	文政2年8月29日			1	正泉寺玄秀和尚
224	同 上	寛政10年3月30日			1	瑞雲寺玄栄和尚
225	同上	文政2年6月21日			1	正泉寺玄秀和尚
226	同上	文政4年4月16日		天宗寺	1	(定山和尚)
227	同上	寛政10年3月14日	同上		1	玄英和尚
228	同上	明治10年3月24日			1	元景寺卓堂和尚
229	同上	元禄16年3月18日			1	瑞雲寺牧牛和尚
230	同 上	元禄2年5月7日			1	玄棟院運長和尚
231	元景寺観芝和尚永平寺住 持職之事	延宝4年3月4日	永平寺		1	
232	元景寺嶺播和尚総持寺住 持職之事	正保4年8月14日			1	
233	元景寺東鷹和尚総持寺住 持職之事	寛永3年3月5日	総持寺		1	
234	地方奉納証文之事	天保6年2月	総社新田九兵衛		1	上畑七畝
235	令寄附畑之事	延享2年12月18日	摂津守	元景寺	1	六反四畝八歩之畑
236	朱印状写	寛永13年11月9日			1	家光朱印
237— 1	寄附証文之事	嘉永6年3月	元景寺泰雲	中山又七	1	金五両
237—2	同上	文化11年12月	元景寺玄英	石田玄圭	1	同上
238	目 録				1	
239	a L				1	
240	覚	文久2年12月			1	寺院修理につき念書
241	定	元禄16年8月			1	曹洞寺院規律
242	天下曹洞宗法度	慶長17年5月			1	権現様御朱印写
243	定	寛永16年3月8日	龍隠寺春道	双林寺	1	曹洞法度守るべし
244	掟	延享1年10月	本多所左工門 天野九左工門	寺院修験社家中	1	宗門法度條目
245	寄附状	享保4年6月15日	与左工門、与平次	瑞雲寺密仙和尚	1	上畑六畝二十四歩
246	書簡	戌3月			1	
247	a L	元禄11年3月			1	朱印地竹木出入
248	同上	同上			1	同上
249	書簡	安政5年7月			1	お詫に杉苗木500本寄附
250	口上書	8月			1	
251	n L	8月	元景寺天童	御家老衆中	1	元景居士150年忌法要依頼
252	6 E	延享3年10月	双林寺泰雲	寺社御奉行所	1	願五件
253	歎願書	天保10年1月	次泉院	双林寺御後見各 大方丈	1	跡目依頼
254	入用書付	宝暦12年閏4月	梅光		1	羽階天狗に権現号を告文寄進
255	御誤一札之事	安政4年4月	彦右衛門		1	詫 状
256	差上申置候証文拠之事	明治4年12月5日	幾次郎		1	
257	55	明治4年10月10日	中山靱貢		1	金二両を送る
258	元景寺寺領之書付之事	元和10年1月23日	元景寺東鷹	高島五兵衛	1	寺領歩積書
259	春光院様百五十回御忌御 寄附之品書	天文2年11月12日			1	法被等4品
260	奉願□上書	文久2年11月	元景寺	館林御普請方御 役所	1	寺院普請願請書
261	覚	辰9月25日	押田源五右工門		1	春光院御廟所惣囲矢来御建立之 節入用控
262	同 上	嘉永1年午10月	大工吉蔵、他	御作事御役人中	1	寺院内修理入用
263	書状控	元禄9年10月15日	元景寺喝玄	御家老中	1	御飯料拝領仕度
264	覚				1	違背の寺の由緒と条
265	書状下書	宝永2年3月18日	元景寺		1	元景院宝塔を立てる件
266	書状	寛政10年12月16日	同上	双林寺	1	継目依頼
267	元景寺先規由緒之事				1	
268	書状下書	延享3年5月	双林寺泰雲	寺社御奉行所	1	44ケ国支配允下願
269	同上	寛永7年7月	元景寺運長		1	歎願書
270	書簡	文政11年3月	元景寺	大沼角左工門 他4名	1	御霊堂再建願
271	書簡下書					Na268の下書
272	書簡	寛政1年10月	元景寺	双林寺	1	渋川良栅寺交替
273	6 L	元禄16年5月25日	立石村半佐工門	元景寺	1	詫 状
274	御届書控写書	宝暦9年閏7月	元景寺梅香	寺社御役所	3通1幅	天狗宮関係
275	書簡	天保10年1月	冷泉院隠道、他	双林寺御役者	1	元景寺跡目依頼
276	同上	申12月9日	元景寺	寺社御奉行所	1	款免願
277	同上		稲垣聖次	土御門様御役所	1	吉凶占い免許願
278	同上	酉3月22日	元景寺	安中木兵衛、他2名	1	扱いを従前通りとする願
279	同上	延享3年10月	双林寺	寺社御奉行所	1	四ケ国総支配願
280	同上	寛延3年1月	元景寺喝玄	御家老中	1	法事に代参差向依頼
281	同上					Na279に同じ
282	同上	宝永7年9月7日	元景寺	白長江左工門 他1名	1	寺社出入での見分願
283	同上	(安政4)4月	良棚寺	双林寺	1	元景寺後住に澧洲を推薦
284	状	元禄16年8月7日			1	末寺への触書
	1.5.	, 5,181.0 , 507.3 , 6	1 0 . 0 . 0 . 1 . 0		· ·	

文書番号	表 題	年 代	差出	宛 先	数	備考
285	数	文久3年5月	啓十郎、他	元景寺	1	
286	同上	正徳1年5月	太右工門、他	元景寺	1	寺地出入の証文
287	書簡	安政1年12月	元景寺佳円	寺社御役者	1	泰雲病死後の後住混雑之事
288		文政 2 年 1 2 月	双林寺	元景寺	1	修養講掛込金
289		文化5年1月	群馬清兵衛	同上	1	祠堂金借用の件
290	目 録				1	秋元家法要回向料寄進目録
291	券文之事	安永9年9月28日	元景寺大道	三雲源五右工門	1	寄付に付養父法名改号
292	同 上	安永9年12月	同上	中島武兵衛	1	永代供養料10両寄付
293	同 上	安永9年9月28日	同上	立見弟右工門	1	寄付に付永々院号大姉号授与
294	同上	天明7年12月	同上	木薯重兵衛	1	法号と永代供養料
295	同上					Na291と同じ
296	覚	安永3年12月	同上	中島勘蔵	1	永代供養料として金四両
297	同上	2019 1 1473	1.3	1 disessian		Na296と同文
298		明治3年11月	元景寺澧洲	典左衛門	1	瑞雲寺本尊へ上畑6畝26歩寄進
299	覚	勢心の牛口力	九泉寸/豆/川	- 一种 1 1	1	元景寺由緒(後欠)
300	永代二売申手形之事	元禄11年2月21日	平左工門	115 61	1	中畑6畝の売り証文
301	譲渡申畑證文之事下書		元景寺	代 助	1	
302	同 上 本書				1	
303	新田町九兵衛より引受田畑				1	後欠
304	譲渡申畑証文之事	文政9年11月	九兵衛	元景寺	1	
305	落着札之事	慶応3年1月	竹五郎	植野村名主	1	宗門人別帳より除く依頼
306	献立表	8月	13 32242	1620 13 632	1	殿様御出の節の献立表
307	目録など	0/3			11	目録、書簡下書など
					1	
308	借用証下書				1	
309	秋元公より御尋に付左之 通絵図寸尺記録いたし差	享和元年4月			1	位牌、石碑の記録控
309	出控書幷に御納物相記し	李和7044月			'	
310					1	
311			70***		1	
	常什金交割簿序	-	双林寺、天宝洲			
312	石碑絵図帳	亥	元景寺	太陽寺典膳	1	
313	祭文	宝暦12年4月10日				羽階大権現末社諸神への祭文
314	書簡	6月10日	秋佐衛門佐久朝	元景寺	1	暑中見舞礼状
315	同上	明治2年8月26日	隆興寺	元景寺	1	葬式依頼
316	受戒受与証	寛保3年仲秋被岸			3	
317	人別移動届	明治3年3月	永寿寺	元景寺	1	巣鳥町伊三郎あととり徳松
318	本山綸旨	2月	惣持寺	元景寺	1	東伝状 シーストラン
						ALILAN .
319	浅間山被害報告	(天明3)8月	三雲源左衛門	光厳寺、元景寺	1	N. 405 O.E.I
320	朱印状写				1	Na195の写し
321	絵図面下書				1	
322	春光院殿150年忌依頼文控		元景寺		1	
323	双林寺末寺一覧	文政9年1月			1	副寺記之
204	学体小	天保2年8月~			1	
324	寄進状	宝暦12年4月			,	
		宝暦8年4月~		寺社役所孝顕寺		
325	役所への届控帳	慶応4年		御役寮	1	
326	羽階権現再建世話人名簿	慶応4年6月		IIII IXX	1	
320		慶164年0月				
327	羽階大権現勧化頼田子御	慶応4年2月			1	元景寺世話人
	連名帳					
328	首座職書上帳下書			双林寺	1	
329	(詩歌画集)				1	回覧し、絵や書を書いている
330	活華奥書伝				1	
331	心窓院殿御仕向料袋	明治			1	金2円
332	先祖法名記録				1	院号5名、童子2名
333	同上				1	院号13名
334	御進物覚	7月26日	大納所		1	秋元但馬守への進物
	免許状包紙	, M. 10L	√ √NE37.51		1	1000 ID NO 0 100 IE 100
335			TAIL =			= -
336	心窓院殿御花料包		秋元		1	<u> </u>
337	同上		同上		1	<u> </u>
338	同上				1	同上
339	呈上粗品包紙				1	
340	寺田畑小作書上書	9月28日	太理兵衛		1	
341	書簡包書		村杉茂助	元景寺	1	
342	秋元隼人正様代々位牌図		黒田甚右工門		1	3.
343	新井村阿佐見出羽経机図面				1	
344	万松寺離旦願書下書				1	14人離旦、神葬祭にしたい願
345	覚				1	
346	遺品預り書状			元景寺	1	
		四2410年7日		ノレ泉寸		
347	錦袈裟たとう	明治19年7月			1	
348	献立準備控					
349	龍穏寺鑑司包紙				1	
350	包 紙				1	金百疋
352	秋元家中先祖由来包紙				1	関口、萩原、他
353	上下宮再興書入包紙	嘉永6年より			1	<u> </u>
354	永代供養料受取控	明治			1	
- 554	の ハ ハハン Dをルーエング HVJ工	シン/ロ	平山山林法律事		<u>'</u>	
355	はがき	明治41年12月26日		大滝常雄	1	
	1		務所			l .

文書番号	表題	年 代	差出	宛 先	数	備考
356	はがき	明治41年12月26日		大滝常雄	1	
357	17世和尚内葬謝礼控	73,63 ** 1 ** 7 ** 5 ** 6 **	1 02021112411 3 333711	7 (10110-10	1	明治8年10月12日死去
358	当山備品登録	明治29年7月6日			1	
					1	
359	御見舞帳	明治8年10月			-	
360	当山17世和尚諸寺院方茶	明治9年3月30日			1	
	毘香資晋山祝賀到来控	同31日				
361	施餓鬼供物到来覚帳	明治7年11月28日	瑞雲寺世話人		1	
362	晋山振舞到着帳	明治10年4月25日			1	
	青梨子瑞雲寺預り且中盆					
363	供至来姓名改記	明治6年8月15日			1	元景寺17世澧洲代
004					1	
364	御上へ書上の外什物取調帳	明治8年11月30日				
365	大施餓鬼供物帳	明治7年10月28日			1	
366	当山17世和尚三回忌に付	明治10年11月17日		· ·	1	
300	資香到来記	93/010411/31/				
367	干物之通	明治30年10月			1	
368	17世和尚 1 周忌到着帳	明治9年11月12日			1	18世仙洲
_	17世和尚茶毘式怒振舞到					
369	着帳	明治9年3月31日			1	
0.70					1	
370	山林払下方祭文	明治41年3月2日				
371	官有地御払下願	明治24年11月19日		大林区農長	1	
372	包 紙	慶応4年7月25日		7	1	天社神道願書幷入門頼入書面
373	書道下書				1	
374	告文包紙				1	
375	包 紙				1	青梨子瑞雲寺地方証文六通
					1	断片
376	書簡					(B) /1
377	包紙				1	The same way and the same and t
378	同上				1	秋元公廟所光厳寺へ引移し願書
379	同上				1	御朱印九通
380	同上	- 1			1	
381	同上	***			1	御開山由来書
382	同上				1	公文
					1	4 4
383	同上					
384	同上	明治			1	春光院光厳院様廟所玉垣絵図面
385	泰元院殿誠心院殿化城院				1	裏にお供えの膳のことなどの記
300	殿逝去入用上書				'	載
386	包 紙		71		1	祭文
						山林訴訟勝訴の結果の登記につ
387	登記済通知書	明治42年1月23日	大林区署	元景寺	1	いて
	TOUT HEAT IDET	5577775555			_	
388	郵便物領収証	明治41年3月3日			1	書留
389	大谷宗作葬儀祭文	明治28年11月2日			1	
390	目 録				1	一部分、立木の数
391	電報	明治40年12月8日	住 職	平松法律事務所	1	
392	総社町役場通知	明治40年10月2日			1	所有地売買交換について
393	はがき	明治39年7月3日	太田資時	大滝卓雄	1	弁護士事務所の宣伝
300	1873 C	93/2004 / / 30 2	平松山林法律事	7 (7 C + AE	- '	7100至至337700000
394	封 筒	明治40年10月3日		元景寺	1	
		7,7,0,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,	務所			
395	同上		総社町役場	元景寺	1	Na392の封筒か
396	同上	明治42年1月26日	東京大林区長	大滝卓雄	1	
397	はがき	明治41年2月28日	高崎小林区署	大滝卓雄、他四名	1	
398	賞	11月			1	受取証
	70	明治12年5月5日	元景寺		1	~~~
399	羽階天中宮建立御寄附帳	A14.0H0H	ルタサ			
400~406	宗祖承陽大師六百五十回				各1	川原、高井、植野、元総社、総
700 700	忌勧化帳				でフ	社、青梨子、他
407	管長御巡化教場前後之儀	四岁10年 4 日47日			1	曹洞宗管長法雲普蓋の巡化につ
407	二付願	明治18年1月17日			'	いての定
408	元景寺澧洲後住関係書類	明治8年10月			1	澧洲10月12日没
409	所有権移転登記嘱託請求書	明治41年4月7日			1	
410	寺院明細帳記入届	明治41年4月7日			1	
411	新祠堂位牌納開眼供養日記	明治6年4月5日			1	
412	宗祖承陽大師六百五十回				1	立石村分
412	忌勧化簿				l '	エエ・ロルカソフ
413	書簡	明治37年6月27日	大滝卓雄	平松福三郎	1	1100
414	官有地御払下願下書	明治24年11月19日			1	
					1	立木本数と大きさ
415	立木払下願	明治24年	ļ			
416	御伺下書	明治41年6月12日			1	山林所有権登記催促
417	官有地御払下願	明治24年11月19日			1	新井官有地払下
44.0		BW1140000				春光院、光厳院、心窓院の墓所玉垣につ
418	玉垣積控	明治11年2月6日	1		1	いて、総社町西村重吉の見積書
419	山林立木伐採願添書一括	明治41年3月25日		管長石川素竜		願書と明細
420		97/0+14-3 /743D				WX 6 C 97 MU
	同上		- Indiana in the second			
420		明治40年10月3日	平松山林法律事	元景寺	1	
		~1/U+v++ U/U U U U	務所	7025 0	l. '-	
421	山林境界調査に関する件					
421		明治41年頃			1	
421 422	立木伐採許可願	明治41年頃			1	
421 422 423	立木伐採許可願 立木予定価格明細表	明治40年頃			1	書簡書
421 422 423 424	立木伐採許可願 立木予定価格明細表 明細帳記入届に付添書	明治40年頃 明治41年3月25日			1	請願書
421 422 423	立木伐採許可願 立木予定価格明細表	明治40年頃			1	
421 422 423 424	立木伐採許可願 立木予定価格明細表 明細帳記入届に付添書	明治40年頃 明治41年3月25日			1	請願書 源英寺後住に青山卓雄を推せん

文書番号	表題	年 代	差出	宛先	数	備考
427	大本山永平寺高祖六百五	明治		,0 ,0	1	源英寺まで集めた分のみの勧化
	十回忌勧化帳					帳
428	寺籍財産明細帳 ************************************	明治19年			1_	=+3 . /= 0 + 0 /* . #37F 0 ==0
429	鐘楼再建、梵鐘鋳直し趣 意書	明治27年7月			1	元禄4年のものが、安政6年明 治17年でこわれたため
430	能州諸獄山惣持禅寺図	近世末			1	1 174 CENTICES
	上地国有林下戻請求訴訟					明治9年に国有林に入れられた
431	一件書類一括	明治37年より			1	土地の払戻
432	内国生命保険契約書幷払	明治40年10月				
433	込領収書	737.277 7773	50-7-#53#D			
433	書 簡	8月23日	秋元玄蕃永朝 秋元但馬守	元景寺 同 上	1	礼状
435		4月1日	高山文左工門ほか	in E	1	天水釜寄付の件
436	同上	6月晦日	13007(3010	13. —	1	押田六兵衛の礼書
437	n L	4月15日	干本純蔵、他		1	長寿院位牌の件
438	口上の手控	10000	TIVE ID # CD 0 #0		1_	寺柄確認の願い
439 440	書 簡	12月6日 5月3日	秋元但馬守久朝	元 意守	1	春光院250回忌法事相済 毘布代金百疋
441	覚	1月28日			1	ETIJI (WEAK
442	書簡	7月25日	干本純蔵、他	元景寺	1	
443	包 紙				1	
444	書簡	2月晦日			1	朱ED状についての覚
445	同上	1月1日	安蔵庄七、ほか	元景寺	1	年始
446 447		1月11日	河野大助、ほか	同 上 押田六兵衛、他	1	御目見について 表門普請のことなど
447		6月24日 弘化2年1月	元景寺 杉江治右工門、他	押田八兵衛、他 元景寺	1	表門普請のことなと 年賀、他
448		1月26日	杉江河石工門、18 	元宗士 同 上	1	年始、他
450	a L	11月4日	国友栄助、他	同上	1	春光院250回忌法事名代の件
451	a L	6月20日	米田八十郎、他		1	暑中見舞の返書
452	同上	12月23日	飯田誠之助、他		1	円障院殿位牌
453	同上	4月7日	秋元壱岐守茂朝	元景寺	11	
454	同上	8月21日	田中新平、他	同上	_1_	- TO
455 456		7月26日	押田六兵衛、他	la F	1	年 賀 矢貝清太夫
456	B 上	3月27日	安藤直左工門、他	元景寺	1	心窓院150年忌法事
458	a E	11月5日	間瀬九右衛門	同上	1	春光院200回忌回向の件
459	同上	1月1日	元景寺澧洲	大類元四郎	1	先祖年忌について照会の返事
460	a L	6月9日	元景寺		1	清厳院200回忌回向
461	書簡下書					
462	書簡	天保8年11月	双林寺蒼海	関三箇寺	1	願書
463		4月	小俣七郎、他		1	長寿院位牌と回向料
464 465		4月15日 4月3日	小俣七郎、他 間瀬市右衛門	元景寺 同 上	1	長寿院が遺品として贈る件 奥向より御納品の件
466		4月15日	小俣七郎、他	元景寺	1	長寿院への御納品依頼
467	同主	17310	光厳寺	村松茂助	1	宝塔台石取替の件
468	包 紙				1	金弐百疋
469	書簡	2月25日	秋元隼人正保朝		1	
470	同上	1月25日	秋但馬守凉朝		1	年賀状
471	同上	6月16日	秋元彦七喬求		1	暑中見舞
472 473	同 上 本山公私詳議の節覚	8月10日	伊奈源六郎、他		1	心窓院様玉垣位牌修覆金のこと 正月年始出勤のことなど
473	書簡		加藤武兵衛、他		1	年始状
475		4月13日	小俣、岩田	元景寺	1	礼状
476	同上	1月22日	秋元越中守喬求		1	年賀状
477						
478	同上	1月19日	秋元越中守		1	同上
	同上	11月3日		元景寺	1	香奠のこと
479	同 上 同 上	11月3日 10月25日	秋元越中守秋元越中守喬求		1	香奠のこと 礼 状
480	同 上 同 上	11月3日 10月25日 2月26日	秋元越中守喬求	大沼友右工門	1 1 1	香奠のこと 礼 状 住職交替の件春英から俊山へ
480 481	同 上 同 上 同 上	11月3日 10月25日	秋元越中守喬求 松江伝左衛門		1 1 1 1	香奠のこと 礼 状 住職交替の件春英から俊山へ 心窓院殿200回忌法要の件
480	同 上 同 上 同 上 同 上	11月3日 10月25日 2月26日 2月7日	秋元越中守喬求	大沼友右工門	1 1 1	香奠のこと 礼 状 住職交替の件春英から俊山へ
480 481 482	同 上 同 上 同 上 同 上	11月3日 10月25日 2月26日	秋元越中守喬求 松江伝左衛門 秋元右近昭朝	大沼友右工門	1 1 1 1 1	香奠のこと 礼 状 住職交替の件春英から俊山へ 心窓院殿200回忌法要の件 時候のあいさつ、他
480 481 482 483 484 485	同 上 同 上 同 上 同 上 同 上	11月3日 10月25日 2月26日 2月7日 文久1年7月9日 6月13日 2月	秋元越中守喬求 松江伝左衛門 秋元右近昭朝 太陽寺典魑盛明 福井內近介安政、他 元景寺	大沼友右工門 元景寺 元景寺 御屋敷御役人中	1 1 1 1 1 1 1	香奠のこと 礼 状 住職交替の件春英から俊山へ 心窓院殿200回忌法要の件 時候のあいさつ、他 署中見舞への殿様の返書 清厳院200回忌の件 客殿造営御助成願上の件
480 481 482 483 484 485 486	0	11月3日 10月25日 2月26日 2月7日 文久1年7月9日 6月13日 2月 8月7日	秋元越中守喬求 松江伝左衛門 秋元右近昭朝 太陽寺典膳盛明 福井内匠介安政、他 元景寺 元景寺	大沼友右工門 元景寺 元景寺 御屋敷御役人中 関口助兵衛、他	1 1 1 1 1 1 1 1	香奠のこと 礼 状 住職交替の件春英から俊山へ 心窓院殿200回忌法要の件 時候のあいさつ、他 暑中見舞への殿様の返書 清厳院200回忌の件 穹殿造営御助成顔上の件 境内風雨による被害の通知
480 481 482 483 484 485	同 上 同 上 同 上 同 上 同 上	11月3日 10月25日 2月26日 2月7日 文久1年7月9日 6月13日 2月	秋元越中守喬求 松江伝左衛門 秋元右近昭朝 太陽寺典魑盛明 福井內近介安政、他 元景寺	大沼友右工門 元景寺 元景寺 御屋敷御役人中 関口助兵衛、他 双林寺	1 1 1 1 1 1 1	香奠のこと 礼 状 住職交替の件春英から俊山へ 心窓院殿200回忌法要の件 時候のあいさつ、他 署中見舞への殿様の返書 清厳院200回忌の件 客殿造営御助成願上の件
480 481 482 483 484 485 486 487 488	6	11月3日 10月25日 2月26日 2月7日 文久1年7月9日 6月13日 2月 8月7日 2月22日	秋元越中守喬求 松江伝左衛門 秋元右近昭朝 太陽寺典膳盛明 福井内近介安政、他 元景寺 元景寺 龍穏寺、ほか 元景寺	大沼友右工門 元景寺 元景寺 御屋敷御役人中 関口助兵衛、他	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	香奠のこと 礼 状 住職交替の件春英から俊山へ 心窓院殿200回忌法要の件 時候のあいさつ、他 署中見舞への殿様の返書 清厳院200回忌の件 容殿造営御助成願上の件 境内風雨による被害の通知 御朱臼、僧録御尋の儀 御先祖御墓所御尋の儀
480 481 482 483 484 485 486 487		11月3日 10月25日 2月26日 2月7日 文久1年7月9日 6月13日 2月 8月7日 2月22日	秋元越中守喬求 松江伝左衛門 秋元右近昭朝 太陽寺典膳盛明 福井内近介安政、他 元景寺 元景寺 麗福寺、ほか	大沼友右工門 元景寺 元景寺 御屋敷御役人中 関口助兵衛、他 双林寺 山形御城内	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	香奠のこと 礼 状 住職交替の件春英から俊山へ 心窓院殿200回忌法要の件 時候のあいさつ、他 署中見舞への殿様の返書 清厳院200回忌の件 跨殿造営御助成願上の件 境内風雨による被害の通知 御朱田、僧録御尋の儀 御先祖御墓所御尋の儀
480 481 482 483 484 485 486 487 488	6	11月3日 10月25日 2月26日 2月7日 文久1年7月9日 6月13日 2月 8月7日 2月22日	秋元越中守喬求 松江伝左衛門 秋元右近昭朝 太陽寺典膳盛明 福井内近介安政、他 元景寺 元景寺 龍穏寺、ほか 元景寺	大沼友右工門 元景寺 元景寺 御屋敷御役人中 関口助兵衛、他 双林寺 山形御城内	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	香奠のこと 礼 状 住職交替の件春英から俊山へ 心窓院殿200回忌法要の件 時候のあいさつ、他 署中見舞への殿様の返書 清厳院200回忌の件 容殿造営御助成願上の件 境内風雨による被害の通知 御朱臼、僧録御尋の儀 御先祖御墓所御尋の儀
480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491	同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上	11月3日 10月25日 2月26日 2月7日 文久1年7月9日 6月13日 2月 8月7日 2月22日 6月12日 12月	秋元越中守喬求 松江伝左衛門 秋元右近昭朝 太陽寺典膳盛明 福井内近介安政、他 元景寺 元景寺 龍穏寺、ほか 元景寺 富田雄麟、ほか 大河内斉助、ほか	大沼友右工門 元景寺 元景寺 御屋敷御役人中 関口助兵衛、他 双林寺 山形御城内 岡谷兵左工門	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	香奠のこと 礼 状 住職交替の件春英から俊山へ 心窓院殿200回忌法要の件 時候のあいさつ、他 署中見舞への殿様の返書 清厳院200回忌の件 容殿造営御助成願上の件 境内風雨による被害の通知 御朱田、僧録御尋の儀 御先祖御墓所御尋の儀 清厳院15回忌 打敷など 宝篋田塔修覆料支払いの件 写し
480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493	同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上	11月3日 10月25日 2月26日 2月7日 文久1年7月9日 6月13日 2月 8月7日 2月22日	秋元越中守喬求 松江伝左衛門 秋元右近昭朝 太陽寺典膳盛明 福井水近介安政、他 元景寺 龍穏寺、ほか 元景寺 電稲寺、ほか	大沼友右工門 元景寺 元景寺 御屋敷御役人中 関口助兵衛、他 双林寺 山形御城内	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	香奠のこと 礼 状 住職交替の件春英から俊山へ 心窓院殿200回忌法要の件 時候のあいさつ、他 署中見舞への殿様の返書 清厳院200回忌の件 境内風雨による被害の通知 御朱田、僧録御尋の儀 御先祖御墓所御尋の儀 消蔵院15回忌 打敷など 宝篋田塔修覆料支払いの件 写し 法号について
480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494	同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上	11月3日 10月25日 2月26日 2月7日 文久1年7月9日 6月13日 2月 8月7日 2月22日 6月12日 12月	秋元越中守喬求 松江伝左衛門 秋元右近昭朝 太陽寺典膳盛明 福井内近介安政、他 元景寺 元景寺 龍穏寺、ほか 元景寺 富田雄麟、ほか 大河内斉助、ほか	大沼友右工門 元景寺 元景寺 御屋敷御役人中 関口助兵衛、他 双林寺 山形御城内 岡谷兵左工門	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	香奠のこと 礼 状 住職交替の件春英から俊山へ 心窓院殿200回忌法要の件 時候のあいさつ、他 暑中見舞への殿様の返書 清厳院200回忌の件 穹殿造営御助成願上の件 境内風雨による被害の通知 御朱印、僧録御尋の儀 御先祖御墓所御尋の儀 清厳院15回忌 打敷など 宝篋印塔修覆料支払いの件 写し 法号について 白米一俵
480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495	同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上	11月3日 10月25日 2月26日 2月7日 文久1年7月9日 6月13日 2月 8月7日 2月22日 6月12日 12月	秋元越中守喬求 松江伝左衛門 秋元右近昭朝 太陽寺典膳盛明 福井内近介安政、他 元景寺 元景寺 龍穏寺、ほか 元景寺 富田雄麟、ほか 大河内斉助、ほか	大沼友右工門 元景寺 元景寺 御屋敷御役人中 関口助兵衛、他 双林寺 山形御城内 岡谷兵左工門	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	香奠のこと 礼 状 住職交替の件春英から俊山へ 心窓院殿200回忌法要の件 時候のあいさつ、他 暑中見舞への殿様の返書 清厳院200回忌の件 客殿造営御助成願上の件 境内風雨による被害の通知 御朱印、僧録御尋の儀 御先祖御墓所御尋の儀 清厳院16回忌 打敷など 宝篋印塔修覆料支払いの件 写 し 法号について 白米一俵 法事料のこと、玉垣職人入札
480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496	同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上	11月3日 10月25日 2月26日 2月7日 文久1年7月9日 6月13日 2月 8月7日 2月22日 6月12日 12月 12月 11月2日、8月21日	秋元越中守喬求 松江伝左衛門 秋元右近昭朝 太陽寺典膳盛明 福井内近介安政、他 元景寺 元景寺 意田雄越、ほか 大河内斉助、ほか	大沼友右工門 元景寺 元景寺 御屋敷御役人中 関口助兵衛、他 双林寺 山形御城内 岡谷兵左工門	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	香奠のこと 礼 状 住職交替の件春英から俊山へ 心窓院殿200回忌法要の件 時候のあいさつ、他 暑中見舞への殿様の返書 清厳院200回忌の件 客殿造営御助成願上の件 境内風雨による被害の通知 御朱祖御墓所御尋の儀 御先祖御墓所御尋の儀 清蔵院15回忌 打敷など 宝篋印塔修覆料支払いの件 写 し 法号について 二十一 二十一 二十一 二十一 二十一 二十一 二十二 二十二 二十二 二十二
480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495	同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上	11月3日 10月25日 2月26日 2月7日 文久1年7月9日 6月13日 2月 8月7日 2月22日 6月12日 12月	秋元越中守喬求 松江伝左衛門 秋元右近昭朝 太陽寺典膳盛明 福井内近介安政、他 元景寺 元景寺 龍穏寺、ほか 元景寺 富田雄麟、ほか 大河内斉助、ほか	大沼友右工門 元景寺 元景寺 御屋敷御役人中 関口助兵衛、他 双林寺 山形御城内 岡谷兵左工門	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	香奠のこと 礼 状 住職交替の件春英から俊山へ 心窓院殿200回忌法要の件 時候のあいさつ、他 暑中見舞への殿様の返書 清厳院200回忌の件 客殿造営御助成願上の件 境内風雨による被害の通知 御朱印、僧録御尋の儀 御先祖御墓所御尋の儀 清厳院16回忌 打敷など 宝篋印塔修覆料支払いの件 写 し 法号について 白米一俵 法事料のこと、玉垣職人入札

10 10 10 10 10 10 10 10	文書番号	表題	年 代	差出	宛 先	数	備考
19 上 日本			4 10				
19 1			Q E110				
504 日 上 10月10日 10月10							
505 Pa 1							<u>+xxx</u>
505			4000400				`E.
500 四上 四月 四月 四月 四月 四月 四月 四月							
507 同上 安飲5年2月 山田彦大天、他 同上 1 野菜の町の次 1月2日 石川野水の 日上 1 野菜の町の次 1月2日 日本の元元 日本の元 日本の元元 日本の元元 日本の元元 日本の元元 日本の元元 日本の元元 日本の元元 日本の元元 日本の元 日本の元元 日本の元元 日本の元 日							
508 日上							
19							寄進の断り状
1 日							
511 四上	509	a L	1月9日	安中右近、他	同上	1	殿様との会見断り状
513 向上	510	同上	1月25日	秋元右近	同上	1	年賀状
513 向上	511		10月15日	塚越甚八郎	同上	1	扶持延引のこと
1514 D 上	512					1	
515 内 上 5月17日 南川田泉之野 日 上 1 新光野で間面の体値のことと 5月17日 田中野平、他 内 上 1 北野町建 1 北野町 1 北野町建 1 北野町建 1 北野町建 1 北野町建 1 北野町建 1 北野町							
19 19 19 19 19 19 19 19							
1							各元死に回志の使信のこと
518 10 1 1 1 1 1 1 1 1			9月/日	田中新平、他			±00 ±74
519 向 上					12 17 107 1		
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日							参詣礼状
521 五世 20	518	同上	4月7日	加太三平、他	同上	1	
521 基正書	519	同上	2月2日		同上	2	由緒について
521 基正書	520		延享4年2月22日	双林寺	同上	1	年始出勤のこと
523 基 間			23				
1月10日 安中左丘 元景寺 1 会長要求 1月10日 安中左丘 元景寺 1 会長要求 1月16日 大場西の女工田 日本 1月16日 大場西の本工 1月16日 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大				いくの三つのう			
59:4 同上 1月16日 大藤四郎 19月16日 日本日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日			1 = 10=	安山左流			今目電水
526							
527 本書書簡							春尤阮200凹退忘礼状
528 番属							
529 古							
528 書	527	奉書書簡	1月28日	秋元摂津守	同上	1	年賀状
593 向上 1 安郎が縁のおり 日上 1 安郎が縁のおり 日本 1 安郎が縁のおり 日本 1	528	書簡			同上	1	大隆院33回忌依頼
531 回上 文久3年1月28日 図合整路介 回上 1 年始が藤のお礼 1 年的 1 日本							
531 同上							
532			XX0417200				
533 書 簡							
536 留書			2001/10/20				
535 書 簡 延享3年12月24日 双林寺 元泉寺 1 左即領地配下寺院安堵の件 536 同 上 6月26日 末寸 同 上 1 一段産産交次部事 537 同 上 4月28日 末寸 同 上 1 円及産交次部事 538 同 上 3月27日 阿心逆塞介 同 上 1 四次産交次部事 540 同 上 9月24日 初江紀工門。他 同 上 1 八次原元まつわる献上書 541 同 上 1月2日 日か材 小塚 元泉寺 1 小塚院配まつおる献上書 542 矢むび号 日 上 1月2日 日か材 小塚 元泉寺 1 小塚院配まり音談の事 543 書 簡 7月7日 岩田彦助、他 元泉寺 1 小塚院正五日護護の事 544 同 上 1月12日 小俣七之助、他 元泉寺 1 小塚院正五日護護 544 同 上 1月12日 小俣七之助、他 1 春光院250回息 545 同 上 1月12日 小俣七定助 位 1 小塚院正温を覆 546 回 上 1月 林任左衛門 同 上 1 小塚院正遠に表考れば 546 回 上 1月 林任左衛門 同 上 1 一次 大阪院 小塚院正書店ごいて 548 同 上 12月19日 同 上 1 一次 大阪院 小塚院正書店ごいて 548 同 上 12月19日 同 上 1 一次 大阪院 小塚院正書店ごいて 548 同 上 12月19日 回 上 1 一次 大阪院 小塚院正書店ごいて 550 受			明治3年1月	長台川本次郎			
536 同 上							
537 同 上	535	書 簡	延享3年12月24日		元景寺	1	
538	536	同上	6月29日	岡谷瑳磨介、他	同上	1	暑中見舞礼状
538 同 上	537		4月28日	ます	同上	1	丹波屋粂次郎事
539 同上 3月27日 関口的左動門 同上 1 大幅呼にまつわる献上書 541 同上 1月2日 田村紅小郎 同上 1 小窓院殿玉垣饍請の事 1 小窓院殿玉垣饍請の事 1 小窓院服玉垣饍請の事 1 1 小窓院服玉垣饍薦の事 1 1 1 1 1 1 1 1 1						1	
540 同上 9月24日 松江窓左丁門。他 同上 1 大路院にまつわる献上書 541 同上 1月2日 田村私八郎 日上 1 小窓院殿玉垣譜講の事 542 朱田吠写 1 小窓院殿玉垣譜講の事 7月7日 岩田彦助、他 元景寺 1 小窓院園玉垣譜講の事 544 同上 11月12日 小俣七之助、他 1 春光院250回忌 545 同上 1月10日 小塚氏五節譜 1 小窓院園玉透光要礼状 546 同上 1月 林庄左衛門 日上 1 一次 一次 1 小窓院園玉透光要礼状 547 同上 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1							8 170347 1227-1
541 同上							士隊院にまつれる献上書
542 末田状写							
543 書 簡			1月2日	田利利人即			心急院販工坦普請の事
544 同上 11月12日 小泉七之助、他 1 香光院250回忌 545 同上 1月 林庄左衛門 同上 1 心臓が遠遠法要礼状 546 同上 1月 林庄左衛門 同上 1 資 状 547 同上 8月10日 坂本四郎左工門 同上 1 旁進状 548 同上 12月19日 同上 1 衛達状 549 同上 12月19日 同上 1 衛達状 550 第 11月26日 樹田助左工門 同上 1 衛達状 551 大陸階13回忌次第 1 7泉寺玄英 嶋田勘太夫、他 1 海水院回向料 551 大陸階13回忌次第 1 7月28日							
546 同 上	543	書簡			元景寺		
546	544	同上	11月12日	小俣七之助、他		1	春光院250回忌
546	545	n L		朝倉唯七、他	元景寺	1	心窓院遠忌法要礼状
547 同 上 8月10日 坂本四郎左工門 同 上 1 光敵院、心窓院宝塔について 548 同 上 12月15日 関口助左工門 同 上 1	546		1月			1	智 状
548							
549 同 上 12月15日 関口助左工門 同 上 1 関口氏先祖倒尋 1550 党 11月26日 松尾忠助、他 同 上 1 淳光院回向料 7 7 7 7 7 7 7 7 7				24-CM 1-11			
550 第				RACION TO THE			
551 大陸院13回忌次第 552 書 簡							
552 書 簡			17月26日	松尾芯切、他		1	
553 同 上 安政4年1月 岡谷玄八郎 元景寺 1 家老衆より年始代参 554 同 上 12月29日 同 上 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
554 同 上							
555 同 上	553			岡谷玄八郎	元景寺	1 .	家老衆より年始代参
555 同 上	554	同上	12月29日		同上	1	
556 同 上 8月11日 典膳 同 上 1 改名通知 1 2月25日 福井内匠介 同 上 1 寒中見頻 1 玉窓妙珠大姉五輪塔位置図につ 1 1 1 1 1 1 1 1 1	555			妹尾存之進		1	御代番につき家老中よりの差紙状
557 同 上 12月25日 福井内匠介 同 上 1 寒中見舞 正保3年8月12日 他 1 正保3年8月12日 他 1 五窓妙珠大姉五輪塔位置図について 559 同 上 杉江安兵衛 元景寺 1 伝言依頼 560 宝篋塔破損見積書 日月3日 岩田庄助、他 元景寺 1 年始代参のこと 562 党 邑梁郡永明寺 1 御用金と受取状 563 書 簡 月月3日 岩田庄助、他 元景寺 1 年賀状 564 同 上 7月23日 間瀬市石衛門 同 上 1 実別焼け見舞 565 同 上 11月8日 大木八郎、他 同 上 1 実別焼け見舞 566 同 上 7月11日 塚越甚八郎 同 上 1 原子に対する礼状 567 同 上 7月11日 塚越甚八郎 同 上 1 位牌堂修覆金の件 568 書簡(控) 閏4月6日 元景寺 曲田勘太夫 1 表門再建額 569 書 簡 12月8日 矢貝一学、他 元景寺 1 銀子一包 571 寄進状 矢貝清太夫 1 銀子一包 572 書 簡 1月2日 川上文蔵 元景寺 1 年賀名代差越のこと 573 同 上 8月1日 岡村庄太夫、他 同 上 1 一部院廨、心顧行客修覆のこと 574 同 上 9月4日 太陽寺典膳 同 上 1 一司依頼							
558 同 上 正保3年8月12日							
1	- 33 /	<u>-</u>					
12 17 17 18 18 18 18 18 18	558	同上	正保3年8月12日			1	
560 宝篋塔破損見積書 1月3日 岩田庄助、他 元景寺 1 年始代参のこと 561 書 簡 1月3日 岩田庄助、他 元景寺 1 年始代参のこと 562 党 日本							
1				杉江女只衛	兀景守	1	伝言依親
562 第							
563		書簡	1月3日		元景寺		
563	562	覚		邑楽郡永明寺		1	御用金と受取状
564 同上 7月23日 間瀬市右衛門 同上 1 浅間焼け見舞 565 同上 11月8日 大木八郎、他 同上 1 気加金確認 566 同上 秋伊賀守 同上 1 扇子に対する礼状 567 同上 7月11日 塚越長八郎 同上 1 位牌堂修覆金の件 568 書簡(控) 閏4月6日 元景寺 嶋田勘太夫 1 表門再建願 569 書簡 12月8日 矢貝一学、他 元景寺 1 修覆断り状 570 臺所配置空 大見清太夫 1 銀子一包 571 寄進状 矢貝清太夫 1 年賀名代差越のこと 572 書簡 1月2日 川上文蔵 元景寺 1 年賀名代差越のこと 573 同上 8月1日 岡村庄太夫、他 同上 1 小窓院閣、ル蔵院石塔修覆のこと 574 同上 9月4日 太陽寺典膳 同上 1 寺破損のため見分役代参のこと 575 同上 同上 1 回向依頼					元景寺	1	
565 同上 11月8日 大木八郎、他 同上 1 冥加金確認 566 同上 秋伊賀守 同上 1 扇子に対する礼状 567 同上 7月11日 塚越邑八郎 同上 1 位牌堂修覆金の件 568 書簡(控) 閏4月6日 元景寺 嶋田勘太夫 1 表門再建線 569 書簡 12月8日 矢貝一学、他 元景寺 1 修覆新り状 570 墓所配置空 万元景寺 1 銀子一包 571 寄進状 矢貝清太夫 1 年質名代差越のこと 572 書簡 1月2日 川上文蔵 元景寺 1 年質名代差越のこと 573 同上 8月1日 岡村庄太夫、他 同上 1 小窓院閣、心蔵院石塔修復のこと 574 同上 9月4日 太陽寺典膳 同上 1 寺破損のため見分役代参のこと 575 同上 同上 同 上 1 回向依頼			7月23日				
566 同 上							
567 同 上 7月11日 塚越甚八郎 同 上 1 位牌堂修覆金の件 568 書簡(控) 閏4月6日 元景寺 嶋田勘太夫 1 表門再建願 569 書 簡 12月8日 矢貝一学、他 元景寺 1 修覆断り状 570 墓所配置控			, , , ,				
568 書簡(控) 閏4月6日 元景寺 嶋田勘太夫 1 表門再建願 569 書 簡 12月8日 矢貝一学、他 元景寺 1 修覆断り状 570 墓所配置控 日本			7 🖂 1 1 🗆 📉				
569 書 簡							
570 塞所配置控 矢貝清太夫 1 銀子一包 571 寄進状 矢貝清太夫 1 銀子一包 572 書 簡 1月2日 川上文蔵 元景寺 1 年賀名代差越のこと 573 同 上 8月1日 岡村庄太夫、他 同 上 1 心窓院廟、心蔵院石塔修覆のこと 574 同 上 9月4日 太陽寺典膳 同 上 1 寺破損のため見分役代参のこと 575 同 上 同 上 同 上 1 回向依頼							
571 寄進状 矢貝清太夫 1 銀子一包 572 書 簡 1月2日 川上文献 元景寺 1 年賀名代差越のこと 573 同 上 8月1日 岡村圧太夫、他 同 上 1 心窓院園、心臓院石塔修覆のこと 574 同 上 9月4日 太陽寺典膳 同 上 1 寺破損のため見分役代参のこと 575 同 上 同 上 同 上 1 回向依頼			12月8日	矢貝一学、他	兀景壬	1	修復断り状
572 書 簡 1月2日 川上文蔵 元景寺 1 年賀名代差越のこと 573 同 上 8月1日 岡村庄太夫、他 同 上 1 心窓院廟、心臓院石塔修覆のこと 574 同 上 9月4日 太陽寺典膳 同 上 1 寺破損のため見分役代参のこと 575 同 上 同 上 同 上 1 回向依頼	570	墓所配置控					
572 書 簡 1月2日 川上文蔵 元景寺 1 年賀名代差越のこと 573 同 上 8月1日 岡村庄太夫、他 同 上 1 心窓院廟、心臓院石塔修覆のこと 574 同 上 9月4日 太陽寺典膳 同 上 1 寺破損のため見分役代参のこと 575 同 上 同 上 同 上 1 回向依頼	571	寄進状		矢貝清太夫		1	銀子一包
573 同上 8月1日 岡村庄太夫、他 同 上 1 心窓院廟、心厳院石塔修費のこと 574 同上 9月4日 太陽寺典膳 同上 1 寺破損のため見分役代参のこと 575 同上 同上 同上 1 回向依頼			1月2日		元景寺		
574 同 上 9月4日 太陽寺典膳 同 上 1 寺破損のため見分役代参のこと 575 同 上 同 上 同 上 1 回向依頼							
575 同 上 同 上 同 上 1 回向依頼							
2/0 iu) 上							
	5/6		L/AIIU	人知识五句闻門		1	季参の即の心体

文書番号	表題	年 代	差出	宛 先	数	備考
577	書簡	8月11日	長山玄左工門	元景寺	1	礼状
578					1	泰光院殿位牌
	<u>同上</u>	12月12日	白井半右工門 間瀬九右衛門	同・上		銀元院殿団牌 朱田頂戴のこと
579	同上	11月18日		同上	1	
580	同上	1月13日	高山瀬左工門、他	同上	1	賀状答礼
581	同上	9月11日	後藤格蔵、他	同上	1	屋根修覆のこと
582	同上	10月29日	岩田彦助、他	同上	1	春光院150回忌法要依頼
583	同上	12月30日	小俣源左工門	同 上 -	1	養子願相済
584	同上	12月25日	加藤助次郎、他	同上	1	寒中見舞
585	同上	1月15日	道山小左工門、他	同上	1	年賀状
586	覚	11月2日	高須友右工門、他	同上	1	進物控
587	書簡	2月3日	秋元壱岐守	同上	1	年賀状答礼
588		12月29日	何野市左工門、他	同上	1	但馬守養子縁組相済のこと
589	定	6月9日	石田升助、他	同上	1	回向料等控
590	書簡	7月2日	福井内匠介、他	同上	1	暑中見舞礼状
591	同上	4月21日	大木八郎	同上	1	御聞済書
592	a L	3月27日	近藤光右工門	同上	1	御気嫌伺
593	同 上	1月5日	勝沼武右工門	同上	1	位牌堂修覆打金代参にて届ける
594	同上	8月11日	林庄右工門	同上	1	暑中見舞礼状
595	la E	7月11日	小俣七郎	同上	1	光厳院250回忌出席依頼(光厳寺)
596	in E	8月2日	吉田升右工門、他	同上	1	初入部に昆布一箱送る
597	le F	8月11日	秋元越中守	同上	1	養子相済
	19 1	0/3110	杉江俊右衛門、	[C] T		心窓院200回忌依頼と式次第控
598	同上	3月27日		同上	4	
		0.0070	他 地			3通
599	同上	6月27日	大河内一秋助、他	同上	2	出席依頼
600	<u>同上</u>	1月2日	太陽寺四郎左工門	同上	1	年賀幷墓所案内依頼
601	同上	10月26日	安藤等左工門、他	同上	1	回向依頼
602	同上	7月23日	後藤権蔵、他	同上	1	位牌堂修覆延引のこと
603	同上	4月27日	秋摂津守	同上	1	礼状(昆布1箱)
604	同上	1月	高山文左工門、他	同上	1	年賀状
605	同上	7月6日	増田要助、他	同上	1	暑中見舞礼状
606	覚		大津又五郎	玄秀	1	一金弐百疋
607	書簡控	6月27日	元景寺使僧	野村半左工門	1	
608	書簡	3月9日	太陽寺典膳	元景寺	1	送り状
609	同上	2月27日	前元景老隠和尚	双林寺大泉和尚	1	~
610	同上	9月16日	杉江安兵衛、他	元景寺	1	
611	同上	2月2日	同上	同上	1	春光院宝篋塔破損報告聞済
612	同上	1月26日	元景寺	萩谷忠左工門	1	先祖位牌について返書
613	a E	3月27日	小俣七郎	元景寺	1	小俣家先祖供養
					1	
614		4月28日	杉本貞右工門	<u></u> 上		心窓院殿玉垣手入について
615	同上	12月7日	岡谷平助、他	同上	1	御目見相済候事
616	同上		市川幸内、他	同上	1	暑中見舞礼状
617	同上	1月28日	持田十左工門、他	同上	1	年賀状礼状
618	同上	8月11日	妹尾友之進、他	同上	1	修覆許可の件
619	同上	9月13日	大木八郎、他	同上	1	了智院逝去の件
620	書簡下書	6月	大河内斉助、他	同上	1	表門再建依頼
621	書簡	3月28日	間瀬九右工門	同上	1	春厳院様200回忌法要礼状
622	同上	12月5日	太田兵左工門	同上	1	春光院法事礼状
623	同上				1	心窓院玉垣修覆のこと
624	覚	2月27日	坂本信兵衛、他	元景寺	1	寄進内訳書
625	書簡	11月3日	小俣七郎、他	同上	2	養子願相済内祝いの品送り状
626	同上	6月10日	秋左馬佐	同上	1	寒中見舞礼,状
627	同上	12月26日	小俣七郎、他	同上	1	火事見舞礼状
628	同上	7月2日	福井新兵衛、他		1	奥方へ暑中見舞の礼状
629	同上	7月2日	IBATANIZEM IU	1-3 <u>1</u>	1	岩田彦助が用人となる通知文
630		, /DL/ L	市川喜内、他	元景寺	1	寒中見舞礼状
		立りの年1日の口			1	巻中見舞礼林 山田左右輔年始名代の件
631		文久2年1月2日		同上		
632		12月26日	大類褐吉		1	- 高朱進上のこと - 第1130年標準
633	同上	*******	松山友司、他		1	普山祝進物書
634	同上	11月8日	吉田八右工門	元景寺	1	春光院200回忌御名代添状
635	同上	7月4日	駒林綿右工門、他	同上	1	大隆院33回忌依頼
636	同 上		田中人三兵衛	同上	1	供料送り状
637	同上	8月15日	干出託蔵、他	同上	1	風損玉垣補修
638	同上	慶応2年4月23日			4	御奏者被仰付御尋2通他に覚2通
639	同上	8月11日	秋但馬守	元景寺	1	秋元壱崎守逝去のしらせ状
640	同上	1月2日	大沼角右工門	同上	1	礼状
641	同上	元治元年		同上	3	同上
642	a E	8月10日	安館内蔵、他	a E	1	心窓院殿供養料追加のこと
643	同上	6月26日	秋摂津守	同上	1	寺社奉行如役のこと
644	書簡(控)	10月13日	元景寺	福井内匠介、他	1	享徳院13回忌の知らせ
		10/510			1	享徳院フロ忌供養料控及び礼状
645	書簡	10月10日	元景寺	岡谷玄八郎、他		
646			福井内匠介、他	元景寺	1	享徳院13回忌依頼
647		嘉永6年10月19日	元景寺別寺	城田十太夫	1	享徳院フロ忌ロ向料証文
648	同上	(嘉永6年)10月15日	岡谷玄八郎、他	元景寺	1	享徳院フロ忌依頼
649	同上	(同上)6月	斉田源蔵、他	同上	1	同上
650	書簡控	10月19日	元景寺	福井内匠介、他	1	享徳院13回忌法要相済届
651	覚				1	法要料控
652	書簡	7月27日	小俣七郎、他	元景寺	1	但馬守姉君逝去
653	書簡(控)	2月26日	元景寺	大納戸方	1	御朱印改めの報告

文書番号	表題	年 代	差出	宛 先	数	備考
654	書簡	1月2日	妹尾及之進	元景寺	1	年賀状
655	同上	10月1日	小俣七郎、他	同上	1	心窓院法号改め
656	la L	4月	小俣七郎、他	同上	1	心窓院200回忌法事料
657	書簡下書	9月29日	元景寺	1-5	1	館林寺役所へ出向くこと
658	書簡	2月1日	勝沼武右工門	元景寺	1	宝篋塔破損
659	同上	6月	斉田源蔵、他	同上	1	(暑中)見舞礼状
660	同上	8月5日	太陽寺典膳	同上	1	礼状
661	同上	2月15日	山瀬新五兵衛	有海長老	1	返信(承知した)
662	同上	7月18日	間瀬市右工門	元景寺	1	浅間焼承知のこと
663		/H100		月 上	4	依頼と目録3通、控1通
664		4 8450	±1/		1	年質状返書
		1月15日	秋元右近	同上	1	上屋敷年寄役16名
665	連署	400400	#8#3# //			工産数件可収10石 修獲許可のこと
666	書簡	10月10日	妹尾義之進、他	<u>同上</u>	1	
667	同上	3月18日	持田金助	同上	1	御尋のこと
668	<u>同上</u>	8月10日	安館内蔵、他	同上	1	心窓院殿玉垣造営回向料
669	同上	8月29日	押田伊兵衛、他		1	使僧差出礼状
670	同上	8月19日	塚越平左衛門、他	元景寺	1	但馬守到着の連絡
671	同上	6月14日	山口弥一衛門	同上	1	礼 状
672	同上			同上	7	
673	同上	5月8日	長谷川只之進、他	瑞雲寺	1	送り状
674	同上	文久1年7月9日	林庄左衛門、他	元景寺	1	暑中見舞礼状
675	同上	12月18日	福井内匠介、他	同上	1	寒中見舞礼状
676	同上	3月27日	岩田彦助、他	同上	1	廟所、玉垣見分願
677	同上	12月29日	秋元一学	同上	1	春光院殿200回忌法事依頼文
678	同上	6月	林庄左衛門、他	同上	1	暑中見舞礼状
679	同上	安永8年7月7日	岩田彦助、他	a E	1	光厳院殿200回忌依頼
680	la E		秋元但馬守永朝	a E	1	春光院200回忌の礼
681		1月2日	岡村宗左衛門、他	同上	1	年始の代参
682	同上.	10月28日	樋山十郎左衛門	元景寺愚海	1	1,30110
683	包紙	10/ 3200	MELLI I MPLLIMIT	7024 0765/65	1	金百疋
684	書簡	2月			1	佐馬介厄年祈禱礼状
685			プロンナ会服 M	元景寺	1	寒中見舞
		12月18日	石田八左衛門、他			
686	同上	12月	林庄左衛門	同上	1	寒中見舞礼状
687	同上	6月14日	山田官左衛門	元景寺内紋龍	1	不幸につき送り物遠慮のこと返書
688	同上	1月2日	小俣内蔵介	元景寺	1	依頼文
689	同上	7月1日	妹尾間左門	同上	1	主君死去光安院となる
690	同上	2月4日	小俣七郎、他	同上	1	
691	包 紙					
692	書簡	6月29日	嶌田勘太夫	元景寺	1	門再建承知の件
693	同上	12月16日	如藤弥左工門、他	同上	1	寒中見舞礼状
694	同上	10月17日	長谷川只之進	同上	1	
695	同上	12月3日	松本仁兵衛	同上	1	春光院200回忌礼状
696	同上				1	送り状
697	同上	11月6日	矢貝旗之介	元景寺	1	春光院殿200回忌名代について
698		.,, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	富田雄蔵	同上	1	
699	同上		妹尾右衛門	a L	1	礼状
700	羽階宮木割之覚帳	慶応4年5月吉日	AIN CLIHAT 3	1 3	1	
701	羽階大権現縁起	慶応4年3月			1	伝説と由来澧洲
702	天狗岩堰御切割絵図	逐165年40万			1	取水口から総社鍛冶町まで
703	羽階宮再建仕様書	慶応4年5月			1	棟梁佐吉の再建仕様書
704 705	別階宮再建勧化帳	慶応4年7月			1	村名不明 未完成の社殿側面図
	社殿設計図下書	唐·				
706	羽階権現設計図	慶応4年頃か			1	%図、川原住佐喜之進
707	植野村元景寺境内羽階大	慶応3年5月			1	祠られた由来
	権現略縁起					
708	羽階大権現再建勧化連名帳	慶応4年6月			. 1	総社新田町分
709	陰陽道許可につき誓約書				1	福垣金次
710	羽階権現再建契約書	慶応4年7月			1	社殿2間半、奥行9尺
711	木□覚之帳	慶応1年7月			1	大工佐吉の覚
712	羽階尊勧化連名帳	明治元年11月			1	川原島新田分
713	=	●応 4 年 7 日 0 5 □	土御門殿在方取	短行令/カル	1	隠陽道許可につきその職料受取
/13	覚	慶応4年7月25日	締役松村右中	福垣金次、他	∟ ′	證文
714	羽階権現設計図	慶応3~4年頃			1	佐吉のものか(側面図)
715	同上				1	佐吉のものか(正面図)
716	祈願書	慶応4年4月8日			1	松平直克の武運長久
717			棟梁佐吉	元景寺	1	
		1 慶川4 年3 日				
718	羽階大権現住文帳	慶応4年3月 慶応4年5月吉日			1 1	
718 719	羽階大権現住文帳 羽階宮木割覚帳	慶応4年5月吉日			1	再建田材の寸法
719	羽階大権現住文帳 羽階宮木割覚帳 羽階権現再建木□控	慶応4年5月吉日 慶応1年8月			1	再建用材の寸法
719 720	羽階大権現住文帳 羽階宮木割覚帳 羽階権現再建木□控 羽階宮再建勧化帳	慶応4年5月吉日			1	寄付帳
719 720 721	羽階大権現住文帳 羽階宮木割覚帳 羽階権現再建木□控 羽階宮再建都化帳 請取書	慶応4年5月吉日 慶応1年8月 慶応4年7月			1 1 1	寄付帳 雑記録
719 720 721 722	別階大権現住文帳 別階宮木割覚帳 別階権現再建木□控 別階宮再建氰化帳 請取書 別階大権現開社記録	慶応4年5月吉日 慶応1年8月 慶応4年7月 宝暦12年4月			1 1 1 1	寄付帳 雑記録 吉田家より神号をうけた
719 720 721 722 723	羽階大権現住文帳 羽階宮木割覚帳 羽階権現再建木口控 羽階宮再建都化帳 請取書 羽階大権現開社記録 羽階在梶現開社記録 羽階権現再建寄進帳	慶応4年5月吉日 慶応1年8月 慶応4年7月 宝暦12年4月 慶応4年2月	AN LL-INTE A		1 1 1 1 1 1	寄付帳 雑記録 吉田家より神号をうけた 由来と寄進者名簿
719 720 721 722 723 724	羽階大権現住文帳 羽階宮木割覚帳 羽階僅現再建木口控 羽階宮再建都化帳 請取語 羽階大権現開社記録 羽階推現再建奇進帳 書 簡	慶応4年5月吉日 慶応1年8月 慶応4年7月 宝暦12年4月 慶応4年2月 1月3日	福井内匠介、他	元景寺	1 1 1 1 1 1 1	寄付帳 雑記録 吉田家より神号をうけた 由来と寄進者名簿 年賀状、名代について
719 720 721 722 723 724 725	羽階大権現住文帳 羽階宮木割覚帳 羽階宮馬建木口控 羽階宮再建都化帳 請取書 羽階大権現開社記録 羽階大権現開建寄進帳 書 簡 同 上	慶応4年5月吉日 慶応1年8月 慶応4年7月 宝暦12年4月 慶応4年2月	福井内匠介、他增田要助、他	元景寺 同 上	1 1 1 1 1 1 1 1 1	寄付帳 雑記録 吉田家より神号をうけた 由来と寄進者名簿 年賀状、名代について 暑中見舞礼状
719 720 721 722 723 724 725 726	羽階大権現住文帳 羽階宮木割覚帳 羽階館現再建木口控 羽階宮再建創化帳 請取書 羽階大権現開社記録 羽階権現再建寄進帳 書 簡	慶応4年5月吉日 慶応1年8月 慶応4年7月 宝暦12年4月 慶応4年2月 1月3日 6月20日	増田要助、他	同上	1 1 1 1 1 1 1 1 1	寄付帳 雑記録 吉田家より神号をうけた 由来と寄進者名簿 年受採、名代について 暑中見舞礼状 白銀2枚
719 720 721 722 723 724 725 726 727	羽階大権現住文帳 羽階宮木割覚帳 羽階管現再建木□控 羽階宮再建創化帳 請取書 羽階大権現開社記録 羽階権現再建寄進帳 書 簡 同 上 句 紙 書 簡	慶応4年5月吉日 慶応1年8月 慶応4年7月 宝暦12年4月 慶応4年2月 1月3日 6月20日	増田要助、他 長谷川只之進	同 上 元景寺	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	寄付帳 雑記録 吉田家より神号をうけた 由来と寄進者名簿 年質状、名代について 暑中見舞礼状 白銀2枚 送り状
719 720 721 722 723 724 725 726	羽階大権現住文帳 羽階宮木割覚帳 羽階館現再建木口控 羽階宮再建創化帳 請取書 羽階大権現開社記録 羽階権現再建寄進帳 書 簡	慶応4年5月吉日 慶応1年8月 慶応4年7月 宝暦12年4月 慶応4年2月 1月3日 6月20日	増田要助、他	同上	1 1 1 1 1 1 1 1 1	寄付帳 雑記録 吉田家より神号をうけた 由来と寄進者名簿 年受採、名代について 暑中見舞礼状 白銀2枚

文書番号	表題	年 代	差出	宛 先	数	備考
730	覚	7月4日	<u> </u>	元景寺	1	回向料控
731	書簡	2月	福井内匠介、他	同上	1	年賀礼状
732		6月18日	相田新左衛門		1	4.見でが
733		10月7日				今東4の米の4
	<u> 同上</u>		矢貝清太夫		1	食事代の送り状
734	同上	3月27日	近藤彦右衛門	同上	1	進物送り状
735	同上	3月3日	太陽寺友之丞、他	同上	1	祈禱願い
736	同上	(正月)	相田万之丞、他	同上	1	年賀のあいさつ
737	香典目録	11月9日				
738	書簡	11月7日	大屋源八郎、他	元景寺	1	円障院法事礼状
739	大隆院三十三回忌法要次第					
740	書簡	11月1日	杉江安兵衛	元景寺	1	安否伺い
741	書簡(控)	9月28日	元景寺	村枝茂助、他	1	修理伺
742	書。簡	4月15日	大屋小隼人	元景寺	1	了智院法要依頼
743	同上。	5月23日	萩谷豊左衛門、他	同上	1	享徳院3回忌依頼
744	書簡(控)	5月		同上	1	秋元但馬守が上屋敷に着いた連絡
745	包 紙	6月				
746	書簡	閏3月15日	田中八兵衛	元景寺	1	金子無心の断り
747	書簡(写)	閏3月	元景寺	御家老衆	1	3ケ年分の法要料
748	書簡	1月15日	秋元但馬守凉朝		1	礼状
749		12月13日	秋元一学茂朝	同上	1	家督相続相済み
750	同上	1月15日	秋元摂津守永朝	同上	1	年賀状
751		1 12121	ルベンロス/手 フュンが	1억 ㅗ	4	平貝秋 愛心院関係
					4	
752		4 8000	THE THE CO			秋元隼人家督相続
753	同上	1月23日	秋元越中守	元景寺	1	年賀のあいさつ礼状
754	同上	1月2日	長谷川兵八郎、他	同上	1	年賀の礼、名代
755	同 上	2月3日	小俣七郎、他	同上	1	長寿院死去連絡
756	同上	6月10日	秋元壱岐守義朝	同 上 -	1	暑中見舞い礼状
757	同上	6月18日	岩田彦助、他	同上	1	安否伺と送り状
758	同上				1	浅間焼出水被害
759	同上	7月5日	矢貝清太夫	元景寺	1	願い承知
760	書簡(下書)	6月	元景寺	押田六兵衛、他	1	山門修理の件
761	書簡	8月11日	田中利兵工	元景寺	1	春光院廟玉垣修理承知
762	同上	3月10日	秋元忠右衛門守朝	同上	1	火事見舞礼状
763	同上	12月7日	矢貝旗之介		1	春光院200回忌法事名代について
764	同上	9月19日	小俣七郎、他	同上	1	左衛門佐家督相続につき祈禱
765	受けとり	***			1	寄進物の受けとり
766	大隆院二十五回忌役割分担	本月初九日			1	3,21,500,000
767	書簡	9月1日	小俣七郎、他	元景寺	1	山形へ知らせたことをほめる文
		0/3110	77 100 100	7036 0		光厳寺22日申中刻本堂中央に落
768	同 上	(文化七年)	元景寺	小俣七郎、他	1	雷本堂、御霊堂、中庫裡、下庫
/00		6月23日	儿泉甘		'	
700		4 0 0 0	図サナウナ 体 88			年質の礼、名代
769		1月2日	岡村安左衛門	元景寺	1	
770	同上		矢貝清太夫	同上	1	清容院位牌送り状
771	同上	3月9日	太陽寺典膳		1	陽雲院200回忌法要
772	書簡(控)	8月6日	安中左近、他	同上	1	永明寺のこと
773	書簡	9月16日	伊王野彦左工門	同上	1	修覆は以後館林へ申し出のこと
774	覚	天保9年4月			1	元景寺継目の進物状
775	書簡	7月4日	秋元隼人		1	暑中見舞礼状
776	同 上	8月24日	小俣七郎、他	元景寺	1	江月院200回忌回向依頼
777	同上	6月20日	藤谷与五工門	同上	1	暑中見舞礼状
778	同上	12月20日	嶋田勘太夫、他	同上	1	寒中見舞礼状
779	同上	7月21日	新双林寺	同上	1	新発意入院のこと
780	同上	1月2日	大沢善十郎、他	a E	1	年始代参のこと
781	同上	6月24日	嶋田勘太夫	同上	1	修覆満足のこと
782	同上	6月18日	後藤棺蔵、他	同上	1	位牌堂屋根修覆承知のこと
						石燈籠等について、心窓院のと
783	同上	8月10日	矢貝清太夫	同上	1	ころだけまず手をつけよ
784	a L		高山瀬兵衛	a L	1	寒中見舞礼状
704		(文化七年)				光厳寺落雷のため本堂等焼失の
785	書簡(控)		元景寺	田村作右工門、他	1	元献寺洛留のため本堂寺焼夫の 知らせ
700	事 節	6月23日	シャナンド		1	
786	書簡	1月27日	秋元右近	元景寺	1	年賀状礼状
787		6月10日	高橋清八		1	心窓院玉垣の設計について
788	<u>同</u> 上	9月22日	勝沼武右工門	同上	1	玉垣の件
789	同上	2月4日	秋左馬佐	<u>同</u> 上	1	年賀状礼状
790	同上	1月29日	秋但馬守	<u>同上</u>	1	同上
791	同上	11月6日	净野院文海	松永正益老	1	添状
792	同上	4月28日	杉江俊右工門	元景寺	1	心窓院200忌礼状
793	同上	11月4日	大納戸役所		- 1	春光院250回忌法事料覚
794	同上			元景寺	1	
795	同上	8月	龍徳寺	双林寺	1	寺焼失につき宿泊不能の件
796	同上	12月29日	林庄左工門	元景寺	1	寒中見舞礼状
797	同上		岩田彦助	同上	1	春光院殿法事代参の事
798	同上				1	墓所の様子の回答
799	書簡(控)	5月19日	元景寺	岡谷平八郎、他	1	享徳院宝塔拝礼の御礼
		-73.00	7022	1-10 17 WAY 16	1	13~18世、21世
		i .	1			
800	双林寺住持名称	7日11日	大類酒五二十四	규롱-	1	莫参の節のネルメサ
	書簡	7月1日	大類源五右工門	元景寺	1	墓参の節の礼状 土産の礼状 何馬守三の丸住居
800		7月11日 9月10日	大類源五右工門 嶋田勘太夫、他	元景寺 同 上	1	墓参の節の礼状 土産の礼状、但馬守三の丸住居 となる

文書番号	表題	年 代	差出	宛 先	数	備考
803	書簡	6月24日	嶋田勘太夫、他	元景寺	1	大隆院50回忌回向料は、清厳院
				儿京士		200回忌とあわせて進上のこと
804	同上	12月7日	斉藤源兵衛		1	表門普請の願の返事
805	政忠、政俊略歴留置	13.000	+m2+-m	二早土	1	秦₩№200回己仰夕件の活性
806 806—2	書簡目録	11月5日	吉田八右工門	元景寺	4	春光院200回忌御名代の添状 回向料、馬代
807	書簡	12月19日	秋元隼人正	元景寺	1	寒中見舞礼状
808		4月9日	秋摂津守	同上	1	お祝品の礼状
809	。 同 上		普賢寺武平、他	同上	1	普請承知のこと
810	同上		下江佐太夫	同上	1	淋証院逝去の報
811	控	文政3年8月	嶌村源蔵		1	秋元御紋所細工人の名書
812	書簡	8月11日	妹尾友之進、他	元景寺	1	境内破損で見分依頼
813	同上		秋元隼人	同上	1	暑中見舞礼状
814		4月3日	双林寺活山和尚		1	入山通知 年賀状礼状
815 816		1月25日 1月25日	秋但馬守 同 上	同上	1	年買状化が 年賀状
817		2月6日	秋伊賀守		1	年賀、進物礼状
818	同上	4月23日	同上	la E	1	入院入来の礼状
					1	心窓院法要に名代として参上の
819	同上	4月17日	関□助作	同上	1	節の礼状
820	同上	1月2日	長山甚兵衛	同上	1	年賀状
821		4月9日	小俣七郎	同上	1	礼 状
822	<u>同</u> 上	1月29日	秋元越中守	同上	1	年賀状
823	党				1	目録
824	書簡	1月		元景寺 同 上	3	近火見舞 下腸金
825 826	<u>状</u> 覚	1 A		同上	1	双林寺住職
827	見 書簡(控)				1	霊堂再建に際しての礼状下書
828	書簡	万延申12月18日	林庄左衛門	元景寺	1	寒中見舞礼状
829	同 上	1月28日	秋元一学	同上	1	家督祝い礼状
830	同 上	1月2日	小俣内蔵介	同上	1	年賀状及び愛心院への香奠送り状
831	a L	6月3日	国友栄助、他	同上	1	延引詰問状廟所修覆許可
832		1月5日	国友栄助、他	同。上	1	春光院廟所大破につき名代見分 差向
833	同上	12月23日	岡村宗左衛門、他	同上	1	寒中見舞状
834	同上	12月11日	安藤杢左衛門、他	同上	1	圭心院厨子位牌完成の通知
835	書簡(控)	10月10日	元景寺	長谷川只之進、他	1	春光院250回忌法要の知らせ
836	覚(過去帳控)				1	梶原家、Ng805の続
837	書簡	12月21日	秋元一学	元景寺	1	春光院200回忌法要香奠受取承知
838	同上	6月18日	高山瀬兵衛	同上	1	代参連絡
839		8月10日	矢貝平一郎	同上	1	礼状
840 841		11月3日 1月2日	岩田彦助 妹尾友之進		1	代参紹介状 年賀状
842		3月2日			1	宝篋塔修覆の旨
042	香奠袋	3/120	域立刻工工门		1	白銀5枚、フロ忌
		5514				4の図、補修個所を朱で示して
843	宝篋印塔の図	明治			1	いる
844	秋元氏厨子図				1	1/3
845	入り口平面				1	約½
846	棟木部分の図				1	使用木材記入
847	建物棟木部分の図				1	10
848	石燈籠の図				1	約%、六尺二寸四分
849 850	本堂平面図 山門側面図				1	<u>場</u> 現在のもの場
850	山門側面図				1	現在のものが、現在のものではない約分。
852	御魂屋唐破風部分図				1	約5%
853	建物側面図				1	1/10
854	御魂屋側面図				1	1/10
855	仏檀前図幷に御魂屋平面				1	3/15 ≥ 1/60
856	建物背面図				1	1/10
857	御魂屋仏間正面図	9911			1	約光
858	元景寺平面図	明治2年8月			11	/伽境内8,200坪、建坪355坪20石
859	元景寺絵図	江戸			1	色別
860 861	御魂屋平面 本堂平面				1	1/ ₂₄ 1/ ₁₀
862	秋元氏墓地平面図	3月			1	グ10 ※① ½10
863	建物入り口部分平面				1	1/24
864	建物合天井図				1	約1/10
865	山門正面図				1	約%現在のものではない
866	本堂平面図	江戸			1	約%
867	元景寺御霊堂再建正面図				1	約1/10
868	元景寺御霊堂側面図				1	約兆
869	書簡	12月	秋元一学	元景寺	1	寒中見舞礼状
870	同上	文久2年12月14日	秋元右近	同上	1	同上
871 872	覚 御請証文の写	7月 8月	大津又五郎 吉蔵(大工)	同 上 御役人衆中	1	送り状
873	書簡	11月24日	秋元摂津守	元景寺	1	不幸お悔み礼状
874		11月16日	秋元右近	同上	1	春光院250回忌法要料下賜料
	·- -	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				

文書番号	表題	年代	差出	宛 先	数	備考
875	書簡	12月13日	林庄左工門	元景寺	1	寒中見舞礼状
876	la L	1月15日	市川喜内	同上	1	年賀礼状
			名代樋山十郎左			//rp.iiri
877	覚	5月10日	工門		1	御霊前
878	書簡	3月26日	渡辺弥一郎、他		1	修覆承知のこと
879	書簡(控)	6月29日	元景寺	安藤安之丞、他	1	大隆院500回忌法要の謝状
880	書簡	12月16日	太陽寺典膳	元景寺	1	先祖石碑再建及び回向の礼状
881	同上	1月3日	大類元四郎	同上	1	養子報告及び先祖回向依頼
882	同上	6月18日	林庄左工門、他	同上	1	但馬守叙景につき金子送り状
883	覚	7月	大津又五郎	同上	1	紋付幕
884	書簡	3月15日	矢貝伝左工門	a E	1	玄英継目祝い状
885	a L	6月18日	秋但馬守	同上	1	暑中見舞礼状
886		7月6日	秋元越中守	高上	1	妻不幸お悔み礼状
887	同 上	3月15日	新双林寺全獅和南	同上	1	入院通知
888		1月19日	秋元摂津守	同上	1	年質礼状
889	同 上	10月20日	嶌田勘太夫 		1	礼状
890	同上	7月20日	藤江滝右工門	同上	1	暑中見舞礼状
891	□ 上		元景寺、光厳寺		1	伊賀守逝去見舞伺い書
892	同上	1月2日	磯五須右工門	元景寺	1	宝篋塔の件
893	同上	4月9日	斉田源蔵	同上	1	あいさつ状
894	同上	9月16日	小俣七郎、他	同上	1	心窓院石塔銘文完成のこと
895	同上	7月9日	小俣七郎、他	同上	1	霊堂修覆金子用立状
896	同上	1月19日	秋但馬守	同上	1	摂津守目見之祝い礼状
897	同上	7月18日	新居勘兵衛	同上	1	浅間焼被害届の返書
898	同上	1月2日	高山瀬兵衛	同上	1	年始代参のこと
899	同上	1月2日	福井内匠介、他	同上	1	同上
900	同 上	1月20日	秋元右近	同上	1	年賀礼状
901	覚	5月		同上	1	供養料
902	書簡(控)	3月11日		1-5	2	位牌玉垣修覆
903	書簡	1月2日	川上文蔵、他	元景寺	1	年始代参のこと
904	同上	6月29日	大津又兵衛	同上	1	但馬守との会見案内状
905		2月4日	小俣七郎、他			佐衛門佐との目見之祝いの礼状
		4月25日			1	但馬守との会見案内状
906	同上		田谷甚右工門	同上		
907	書簡(控)	2月26日	元景寺玄英	長谷川只之進、他	1	陽居願
908	党	7月	大津又五郎	元景寺	1	宿棺につき寺修覆料掟
909	書簡	12月1日	岩田彦助	同上	1	春光院法要礼状
910	同上	安政6年1月3日	高山文左工門	同上	1	普請奉行を見分役に差向けること
911	同上	9月18日	塚越平学	同上	1	礼 状
912	同上	7月13日	杉江清右工門	同上	1	心窓院回向依頼
913	同上	4月9日			1	喜窓妙慶(回向依頼)
914	覚	フ月	宝山	元景寺	1	杉苗500本
915	書簡(控)	6月17日	元景寺	福井内匠介、他	1	清厳院200回忌法要伺い状
916	書簡	1月	岡谷兵八郎	元景寺	1	年賀礼状
917	同上	2月8日	樋山十郎左工門	同上	1	隠居届
918	la F	12月16日	秋元隼人	同上	1	改名通知
919	同上。	11月7日	小俣七郎、他	同上	1	初目見につき霊前に回向料下賜
920	la E	10月5日	山瀬新五兵衛、他	同上	1	委細承知
921		2月21日	松尾忠助、他	同上	1	誠心院100回忌法要に代参差向
921-2		2月21日	高山文右工門		1	同 上
					1	法事料目録
921-3	覚	2月24日	大津又兵衛			寒中見舞礼状
922	書簡	12月16日	秋元隼人	元景寺	1	
923	同上	3月29日	山田善太夫、他	同上	1	能持院芳春退休につき後任仰付
						のこと
924	同上	12月15日	秋元隼人	同上	1	寒中見舞礼状
925	同上	4月27日	大沢与佐兵衛	同上	1	継目あいさつの品に対する礼状
926	6 F	58118	秋元伯馬宁洁胡		1	息子の玄蕃がお目見えの祝いに
926		5月11日	秋元但馬守凉朝		'	扇子を贈る
		6.5.05	杉本貞右衛門、			西の大木を門修理に使用。図面
927	同上	8月10日	他		1	等承知
		- 5.25				宝篋塔破損について見積提出の
928	同上	6月17日	杉江安兵衛、他	同上	1	25
929	受けとり状	 				
930	書簡	7月18日	和田新左衛門、他	元景寺	1	
931		10月10日	杉江清左衛門、他	同上	1	享徳院1周忌法事依頼
	<u>同上</u>				1	大降院50回忌依頼状
932	同上	6月17日	妹尾友之進、他	同上	1	
933		6月29日	河野大助、他	同上	1	光厳寺焼失につき別紙の事を光
						厳寺に知らせてほしい
934	同上	11月15日	矢貝清太夫、他	同上	1	勝手元困窮の事
935	同上		太陽寺典膳	同上	1	先祖の法号について
936	同上	6月21日	福井内匠介	同上	1	暑中見舞礼状
937	受けとり				1	
938	届(控)				3	
939	書簡	3月5日	太陽寺典膳	元景寺	1	先祖の法号連絡の礼状
940	書簡(下書)	1			1	
941	書簡	+			6	
		1月23日	秋元但馬守	元景寺	1	年賀状
010		1 LOLD	1次/いに/12 /7	705KT		
942		12日1日	新民助兵衛		- 1	春米障注重が休
942 943 944		12月1日 8月9日	新居勘兵衛 普賢寺武平、他		1	春光院法事礼状 戦功で永世1万石寺へ白銀1枚

文書番号	表 題	年 代	差出	宛 先	数	備考
945	書簡	2月6日	秋但馬守	元景寺	1	年賀状
946	同上	6月6日	秋元□次郎	同上	1	お目見報告
947	同上	2月1日	秋元摂津守	同上	1	年賀状
948	同 上	10月15日	秋左馬佐	同上	1 ,	墓参の節の礼状
949	同上	8月11日	秋元図書	同上	1	養子祝いの礼状
950	同上	10月7日	秋元越中守	同上	1	婚姻祝い礼状
951	同上	3月25日	秋元一学	同上	1	春光院200回忌依頼文
952	同上	8月5日	秋元保五郎	同上	1	家督につき200疋進上
953	同 上	4月8日	秋但馬守	同上	1	礼状
954	同 上	9月20日	秋元右近	同上	1	中川御番お祝いの返事
955	控				1	朱印頂戴控
956	書簡	閏8月20日	加藤助次郎	元景寺	1	隼人正逝去の報
957	献立表	9月25日		*	1	15世内葬献立
958	書簡	8月3日	小俣七郎、他	元景寺	1	江月院法要依頼
959	覚(借用書)	享保20年10月10日	文 七			
960	書簡		龍海院隠祐	元景寺	1	受取書
961	同上	12月1日	加藤武平		1	寒中見舞返事
962	同上	7月3日	松岡五左工門	元景寺	1	礼状と送り状
963	同上	2月20日	塚越平学	同上	1	但馬守廟所参詣希望
964	同上	10月23日	秋元山院代	同上	1	館林へ代僧に出ること
965	同上	8月5日	大伴又五郎	同上	1	礼状
966	同上	1月2日	村山勘解由	同上	1	附届送り状
966-2	同 上	1月3日	林庄左工門	同上	1	年始名代の紹介状
966-3	同上	12月	林庄左工門、他	同上	1	ERC
966-4	同上	12月	同上	同上	1	寒中見舞礼状
966-5	同上	1月2日	川上文蔵、他	同上	1	年始代参差向
967	書簡(控)	7月22日	元景寺	岩田彦助、他	1	浅間焼による水害の報告
968	書簡	東町の佐4日	市川喜内、他	元景寺	1	暑中見舞礼状
969	覚	享和3年4月	石工彦七		1	宝篋塔石工見積
970	書簡	11月2日	双林寺道錦和南		1	入院通知
971	同上	子10月	双林寺東天和南		1	入院通知 光厳院250回忌代参のこと
972		4 8 4 4 0	松江優右工門、他		1	年賀礼状
973 974		1月11日 林鐘27日	太陽寺友之丞、他双林寺大泉和南		1	入院通知
975		4月17日	関口助作	同上	1	名代の礼状
976		8月10日	松本貞衛門		1	江月院200回忌名代となる件
977	同上	9月18日	下江佐太夫、他		1	駅所玉垣矢来修覆代金送り状
978	同上	6月15日	持田十左工門	元景寺	1	暑中見舞礼状
979	同上	8月10日	松本貞工門、他	同上	1	惣門再建につき使者見分役差仕件
980	同上	3月15日	下江左太夫	同上	1	弟子玄英に譲る旨承知のこと
981		8月10日	安館内蔵		1	道中無事帰着の報
982	同上	2月15日	大沼友左工門	13 1	1	祈禱お礼受取に対する返書
983	書簡(控)	6月21日	元景寺	押田六兵衛、他	1	表門再建依頼
984	控		同上	77007 0 (13)	1	領収控
985	書簡	8月2日	間瀬高左衛門	元景寺	1	浅間焼け報告承知のこと
986	覚	申11月11日	元景寺	国友栄助、他	1	法事目録書の領収
987	書簡	3月10日	林庄左衛門、他	元景寺	1	年始祈禱に対する礼状
000		7.000	D#35# #		_	春光院法事回向料で廟所玉垣修
988	同上	7月29日	田中八兵衛、他	同上	1	覆のこと
989	同上	6月3日	下江佐太夫	同上	1	入院通知
990	同上	6月18日	遠山清左工門	同上	1	春光院200年忌前玉垣修覆願
991	同上	7月2日	福井内匠介	同上	1	暑中見舞礼状
992	同上	1月11日			2	
993	a F		秋元一学	元景寺	1	礼状
994	同上	5月8日	岡谷兵八郎	同上	1	用人役就任祝いの礼状
995	同上	文久1年7月	高山瀬兵衛、他	同上	1	暑中見舞礼状
996	書簡(控)	4月10日	元景寺	加藤弥太夫、他	1	梶塚家由来について
997	書簡	未12月20日	小林安左工門、他	元景寺	1	寒中見舞礼状
998	同上	午1月	岡谷兵八郎、他	同上	1	御家老中よりの年賀返礼
999	同上	6月10日	安館内蔵	同上	1	心窓院廟所玉垣代金フ両送り状
1000	同上	6月29日	岡谷瑳磨介、他	同上	_ 1	暑中見舞礼状
1001	覚		111-111-11			
1002	書簡	8月16日	杉江治左工門	元景寺	1	破損所見分差越案内状
1003	送り状	7月4日	大村盈蔵、他	同上	1	寄進金子送り状
1004	書簡(控)	6月10日	元景寺	遠山清左工門	1	春光院200年忌前につき玉垣修
						 復願
1005	書簡	5月20日	関口民衛	p_	2	化城院法要依頼
1006		1800	道山小佐衛門、他	元景寺	1	寒中見舞礼状
1007	同上	1月3日	岡村宗左衛門、他	同上	1	年始代参差向の件
1008	書簡(控)		元景寺		1	宝篋塔屋根勾欄破損見積館林登城のことなど
1009	書簡	1 8 2 0	武井彦右工門	元景寺	4	
1010		1月2日	武井彦石工門 秋元但馬守		1	年始名代差向案内状婚姻祝い礼状
1011		10月7日			1	
1012	事節(枕)	1月20日	間瀬九右工門 元景寺	御用人中	1	年始礼状 宝篋塔破損報告
1013	書簡(控) 書 簡	3月27日	小俣七郎、他	元景寺	1	上 医哈吸損報告
1014		9月2日	妹尾与右衛門	同 上	1	表門再建金子下賜のこと
1016		安政5年8月11日	林庄左工門、他	同上	1	御廟所見分に代参差向のこと
	I 120 T	L XM V + O D II D	1 101AT-TT-T-1 27 JRR		<u> </u>	Manual Note Aのからのこと

文書番号	表	題 年代	差出	宛 先	数	備考
1017	書簡	午1月	伊王野彦左工門	元景寺	1	年始礼状
1018	a E	1月28日	加藤小源太、他		1	a L
1019	同上	1月25日	秋但馬守	同上	1	同上
1020					1	宝篋印塔建立祭文
1021	書簡	10月16日	林庄左工門、他	元景寺	1	享徳院17回忌法要依頼
1022	同上	12月6日	小俣七郎	同上	1	春光院250回忌法要礼状
1023	同上	閏7月27日	小俣七郎、他	同上	1	今井谷奥方への御悔礼状
1024		11月13日	矢貝格之助、他	同上	1	但馬守養子祝い礼状
1025		8月11日	太陽寺典膳	同上	1	回向依頼
1026		12月29日	岡谷瑳磨介、他	同上	1	寒中見舞礼状
1027		10月26日	関□源太夫、他	同上	1	心窓院法事金子差仕案内状
1028		2月17日	田村庄太夫	同上	1	嫡子祝い礼状
1029	書簡(控)	12月7日	元景寺	松尾右助、他	1	寒中見舞状
1030	書簡	2月2日	古田斉助、他	元景寺	1	家督につき奉納金下賜
1031		8月24日	松江安兵衛	同上	1	江月院200回忌代参差向案内状
1032	書簡(控)	6月2日	元景寺	坂本貞右工門、他	1	表門修覆費用下賜礼状
1033	覚		ļ		1	大隆院50回忌回向料
1035	書簡	11月7日	右田十右工門、他	元景寺	_1	但馬守逝去御悔の礼状
1035		7月			1	小俣七郎自分霊前備物覚
1036	書簡	安政5年6月23日	妹尾友之進、他	元景寺	1	暑中見舞礼状
1037	同上		勝沼武右工門	同上	_1	位牌堂修覆願断り状
1038		7月4日	小俣七郎、他	同上	1	大隆院25回忌法事礼状
1039	覚	3月23日			1	法事料控え
1040	書簡	1月23日	間瀬九左工門	元景寺	1	御飯料送付につき向後25年勝手
1041		4月28日	村杉兵衛助、他	同上	1	受取状
1042		2月6日	内谷弥兵衛、他	同上	1	心窓院200回忌代参案内状光厳
1043	la L	9月24日	押田六兵衛、他		1	院250回忌法要依頼 大隆院遺物三幅対掛物一箱送り状
1043	同上	3/3240	TUN (THE TE	同上	2	/ ハトエルル屋 4の一 4日/2 7 4八
1045	同上	1月3日	岩田彦助	高士	1	年始代参案内状
1046	同上	10月1日	古田八右工門		1	春光院法事伺いの返書
1047	同上	1月5日	小俣七郎	同上	1	年賀礼状
1047		11月23日	岡村宗左工門		1	寒中見舞礼状
1048		12月4日				
	<u> </u>		小俣七郎、他	<u></u>	1	
1050	同上	12月4日	同上	同上		同上
1051	<u></u> □ 上	10月26日	石川金五介、他	同上	1	伊賀守逝去の報
1052	<u>同上</u>	11月16日	秋摂津守	<u>同上</u>	1	心窓院法事謝礼
1053	<u>同</u> 上	2月22日	秋左衛門佐	同上	1	年賀礼状
1054	同上	1月10日	山田官左工門	同上	1	年始名代差向のこと
1055	<u></u> □ 上	2卯7月	新双林寺雪明和南		1	入山通知
1056	同上	12月14日	市川喜内、他	元景寺	1	寒中見舞礼状
1057	同上	1月14日	市川喜内、他	同上	1	年始礼状
1058	同上	9月25日	高島左工門	同上	1	金子送り状、他
1059	同上	12月7日	古田八右工門、他	同_上	1	春光院法事礼状
1060	同上	文久3年1月15日	秋元右近	同上	1	年賀礼状
1061	覚	年7月	藤江仲左工門		1	大隆院様35回忌法事料
1062	書簡	1月21日	秋摂津守	元景寺	_ 1	お目見報告
1063	書簡(控)	6月6日	元景寺	遠山清左工門	1	春光院200回忌に当り玉垣修覆
						依頼 但馬守より頂戴物の礼状に対す
1064	書簡	4月29日	福井三四郎	元景寺	1	る返書
1065	同上	6月6日	秋但馬守	a L	1	岩次郎お目見通知
1066		8月1日	蟻川角之進		1	宝篋塔完成代参差向のこと
1067		11月7日	長山扇次郎、他	同 上	1	玉座岩元以代参差回のこと 礼 状
1067	同上	4月12日	渡辺弥一郎		1	宝塔等修覆許可
1068		9月1日	国友栄助		1	本源院遺物送り状
1009		9,7116	中島党一郎、他	同上	1	事中見舞
1070	同上	2月	山瀬新右工門、他		-	年始礼状
1071		1月25日	山瀬新石工門、他 秋元摂津守		1	同上
1072		12月8日	矢貝一学、他	同上	1	寒中見舞礼状
1073		8月10日	勝沼武工門、他		1	江月院200回忌法要
1074	同 上 書簡(控)	8月10日	双林寺	同 上 御役人中	1	九一代400回本本安
1076	書簡	11月7日	XXM守 間瀬九右工門	元景寺	1	春光院200回忌法事料送り状、目録
1076	同 上	 11月7日 宝暦丙子11月9日	双林円隆和南	元景丈室禅師	1	各元院200回点法事科送りが、日録 入山通知
1077		11月25日	秋元右近	元景寺	1	寒中見舞礼状
1078		11月25日	間瀬九右工門	元豪守 同 上	1	年始礼状
1079		8月28日	秋捨三郎		1	初お目見につき祝いを送る
1080-2	包 紙	37200	1V10-M		1	MODRIC JCTNIV ICKS
1080-2			 		2	法事目録
1081	書簡				3	
1082		11月29日	秋但馬守	元景寺	1	岩草1箱
1082	書簡(控)	6月12日	元景寺	大河内斉助、他	1	山門再建依頼
1083	書簡	万延2年1月15日	中島丑三郎、他	元景寺	1	年賀状答礼
		申1月3日			1	寒中見舞礼状
1085	<u>同上</u>		山瀬新左工門、他			巻中見舞れが 伊賀守叙景の書状に対する礼状
1086		2月6日	秋伊賀守		1	修養につき代参差向けのこと
1087	同上	6月22日	田中俊左工門、他	同上	-	修復につき代参差回りのこと
1088	同上	11月	塩谷右兵衛、他	同上	1	淳光院仏碑元納につき飛脚差回 淳光院の納物、遺物の送り状
L			L	L	L	/チノいりもリノババイグ、 足がルノス・ノイ

文書番号	表題	年代	差出	宛 先	数	備考
1089	書簡	1月28日	秋元右近	元景寺	1	年賀礼状
1090	同上	5月3日	秋元隼人	同上	1	住職就任祝い
1091	同上			同上	2	礼状
1092	下書				1	
1093	書簡	1月21日	萩谷忠左工門	元景寺	1	先祖位牌の問い合せ
1094	同上	3月18日	妙高座即口和南	元景寺方丈、他	1	孝顕寺一件の書付送付済の趣
1095	同上	7月19日	嶋田弥一左工門	元景寺	1	浅間焼見舞
1096		773100		同上	2	220-07002034
1097	同上	11月5日	林庄左工門、他	同上	1	但馬守奥方逝去見舞礼状
1098	同上	7月8日	高山文左工門、他	同上	1	暑中見舞礼状
1098		1月1日	秋但馬守	同上	1	年賀礼状
1100		9月10日	塩谷右兵衛、他		1	若狭守奥方逝去使僧礼状
				同上	1	大隆院33回忌の法要礼状
1101	同上	7月4日	岡谷三太夫、他		1	淳光院位牌送り状
1102	同 上	11月26日	小俣七郎、他	同上	-1	
1103	同上	閏7月26日	国友栄助	同上	1	今井谷奥方の法要礼春光院250
			+= 0 ====			回忌法要依頼
1104	同上	12月13日	新令双林寺	同上	1	進山通知
1105	平面図					
1106	覚	5月10日	梅山十郎左工門	元景寺	1	御霊前奉納書
1107	書簡	10月5日	押田六兵衛	同上	1	御様子伺
1108	同上	1月24日	山瀬新五左工門	愚海	1	返書三通送り状
1109	同上	3月26日			1	宝篋塔の心窓院に殿の字を加えよ
1110	同上				1	心窓院200回忌法要料送り状
1111	同上	11月16日			5	
1112	同上	1月20日	秋摂津守	元景寺	1	年賀礼状
1113	同上	1月30日	秋元隼人正	同上	1	礼状
1114	同上	未1月20日	樋山十郎左工門、他	愚海	1	入用書状
1115		2月22日	秋但馬守	元景寺	1	嫡子願聞届祝いの礼状
1116		2月2日	勝沼武右工門、他	同上	1	長厨院死去悔み礼状
1117	同上	ZHZU	矢貝清太夫、他	10	1	享徳院3回忌法要名代差向、他
		11000	加藤助次郎、他	元景寺	1	集人正御悟御礼
1118	同上	11月13日			1	寒中見舞礼状
1119	同上	12月21日	岡谷瑳磨介、他	<u>同上</u>		
1120	同上	1月15日	秋元右近	同上	1	家督祝い礼状
1121	同上	7月	林庄左工門、他	同上	1	暑中見舞礼状
1122	同上	12月21日	岡谷瑳磨介、他	同上	1	寒中見舞礼状
1123	同上	11月18日	新居勘兵衛	同上	1	朱印頂戴の状の返書
1124	同上		高山文左工門、他	同上	1	暑中見舞礼状
1125	同上	6月28日	秋元一学	同上	1	同 上
1126	同上	8月12日			1	普請につき永井谷蔵見分に差向
1127	同上	6月7日	山瀬新五兵衛、他	元景寺	1	施餓鬼御礼及び孝顕寺―件承知
1128	同上	11月13日	秋元右近	同上	1	家督につき金百疋進上
1129	同上	12月15日	国友瑳磨介	同上	1	寒中見舞礼状
1130	同上	10月14日	山瀬新左工門	同上	1	享徳院17回忌名代代参通知
1131	a L	10月13日	林庄左工門、他	同上	1	享徳院フ回忌法要依頼
1132	覚	107 3100	11122213(10		1	法事料
1133	書簡	2月1日	秋左衛門佐	元景寺	1	年賀礼状
1134	同上	2月14日	山瀬新五兵衛、他	同上	1	江願飯料差仕
1135		6月18日	相田新五左工門	同上	1	玉垣修覆承知のこと
1136		5月24日	田中四郎兵衛	同上	1	礼状、使者案内状
			塚越平学		1	塚越家来歴について
1137	同上	2月3日			6	
1138	同上			同上		
1138-2	献物状	1	70++-+		6	3 Prove/Pro
11383	+	閏4月11日	双林寺	元景寺	1	入院通知
1139	同上	6月27日	秋元一学	同上	1	不幸見舞礼状
1140	同上	11月23日	同上	同上	1	お悔み礼状
1141	同上	6月24日	秋元越中守	同上	1	男子出生祝い礼状
1142	同上	9月16日	秋佐衛門佐	同上	1	了智院死去のお悔み礼状
1143	同上	安政5年1月	秋元右近	同 上	1	年賀礼状
1144	同上	8月28日	秋但馬守	同上	1	捨三郎初お目見え祝いの礼状
1145	同上	11月21日	同上	同上	1	捨三郎嫡子祝い礼状
1146	同上	1月25日	同上	同上	1	年始礼状
1147	同上	11月24日	同上	同上	1	お悔み礼状
1148	同上	2月6日	同上	同上	1	年賀礼状
1149	同 上	11月27日	同上	同上	1	摂津守婚姻祝い礼状
1150	同上	12月16日	同上	同上	1	清三郎初目見え祝い礼状
1151		11月27日	同上	同上	1	秋田山城守娘養女取組の礼状
			秋元摂津守	同主	1	双林寺入院祝い状
		12日7日		1 1 2		TAKE IN ON VINORON WAY
1152	同上	12月7日		a F	1	不幸目舞礼状
1152 1153	同 上 同 上	8月23日	同上	同 上 塩谷五斤街 他	1	不幸見舞礼状 大路院17回忌客内
1152 1153 1154	同 上 同 上 書簡(控)	8月23日 6月20日	同 上 元景寺	塩谷右兵衛、他	1	大隆院17回忌案内
1152 1153 1154 1155	同 上 同 上 書簡(控) 書 簡	8月23日 6月20日 1月	同 上 元景寺 山瀬新左工門、他		1	大隆院17回忌案内 年賀礼状
1152 1153 1154 1155 1156	同 上 同 上 書簡(控) 3 簡 同 上	8月23日 6月20日 1月 9月	同 上 元景寺 山瀬新左工門、他 元 吉	塩谷右兵衛、他 元景寺	1 1	大隆院17回忌案内 年賀礼状 年賦金請渡の上書控
1152 1153 1154 1155 1156 1157	同 上 同 上 書簡(控) 書 簡 同 上 同 上	8月23日 6月20日 1月 9月 12月16日	同 上 元景寺 山瀬新左工門、他 元 吉 小俣七郎、他	塩谷石兵衛、他 元景寺 元景寺	1 1 1	大隆院17回忌案内 年賀礼状 年賦金請渡の上書控 左衛門佐初目見え祝い礼状
1152 1153 1154 1155 1156 1157 1158	同 上 同 上 書簡(控) 書 簡 同 上 同 上	8月23日 6月20日 1月 9月 12月16日 未12月25日	同 上 元景寺 山瀬新左工門、他 元 吉 小俣七郎、他 岡村庄太夫	塩谷石兵衛、他 元景寺 元景寺 同 上	1 1 1 1 1	大隆院17回忌案内 年質礼状 年賦金請渡の上書控 左衛門佐初目見え祝い礼状 寒中見顕礼状
1152 1153 1154 1155 1156 1157 1158 1159	同 上 同 上 書簡(控) 書 簡 同 上 同 上 同 上	8月23日 6月20日 1月 9月 12月16日 末12月25日 10月28日	同 上 元景寺 山瀬新左工門、他 元 吉 小俣七郎、他 岡村庄太夫 長山扇次郎	塩谷石兵衛、他 元景寺 元景寺 同 上 同 上	1 1 1 1 1 1	大隆院17回忌案内 年質礼状 年賦金請渡の上書控 左衛門佐初目見え祝い礼状 寒中見顕礼状 春光院法事の儀承知の趣
1152 1153 1154 1155 1156 1157 1158 1159 1160	同 上 同 上 書簡(控) 書 簡 同 上 同 上 同 上	8月23日 6月20日 1月 9月 12月16日 末12月25日 10月28日 12月16日	同 上 元景寺 山獺新左工門、他 元 吉 小俣七郎、他 岡村庄太夫 長山扇次郎 秋佐衛門佐	塩谷石兵衛、他元景寺 元景寺 同上 同上 同上	1 1 1 1 1 1	大隆院17回忌案内 年質礼状 年賦金請渡の上書控 左衛門佐初目見え祝い礼状 寒中見舞礼状 春光院法事の儀承知の趣 初お目見え祝い礼状
1152 1153 1154 1155 1156 1157 1158 1159 1160 1161	同 上 言 (控) 書簡(控) 書 簡 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上	8月23日 6月20日 1月 9月 12月16日 末12月25日 10月28日 12月16日 1月16日	同上元景寺 山瀬新左工門、他元 吉 小俣七郎、他 岡村庄太夫 長山扇次郎 秋佐衛門佐 橋沢長石工門、他	塩谷石兵衛、他 元景寺 元景寺 同 上 同 上 同 上	1 1 1 1 1 1 1 1	大隆院17回忌案内 年質礼状 年賦金請渡の上書控 左衛門佐初目見え祝い礼状 寒中見舞礼状 春光院法事の儀承知の趣 初お目見え祝い礼状 奥方への年質礼状
1152 1153 1154 1155 1156 1157 1158 1159 1160	同 上 同 上 書簡(控) 書 簡 同 上 同 上 同 上	8月23日 6月20日 1月 9月 12月16日 末12月25日 10月28日 12月16日	同 上 元景寺 山獺新左工門、他 元 吉 小俣七郎、他 岡村庄太夫 長山扇次郎 秋佐衛門佐	塩谷石兵衛、他元景寺 元景寺 同上 同上 同上	1 1 1 1 1 1	大隆院17回忌案内 年質礼状 年賦金請渡の上書控 左衛門佐初目見え祝い礼状 寒中見舞礼状 春光院法事の儀承知の趣 初お目見え祝い礼状

文書番号	表題	年 代	差出	宛先	数	備考
1164	書簡	6月28日	福井三四郎、他	元景寺	1	第
1165		9月	双林寺	龍穏寺	1	寄り兄妹もの 病状容体書提出のこと
1166	書簡(控)	6月20日	元景寺	嶋田勘太夫、他	1	大隆院17回忌案内状
1167	覚	7月4日	杉江安兵衛、他		1	大隆院17回忌法事料
1168	書簡	11月9日	大沢尽十郎、他	元景寺	1	戸田忠徳養子相済隠居の報
1169	日 録	卯12月	////COTABLE	7056.0	1	書状目録
1170	書簡	12月16日	加古三平、他	元景寺	1	料理受取通知
1171	書簡(控)	10月10日	元景寺	長谷川只之進、他	1	春光院200回忌次第報告
1172	書簡	1011011	儿泉廿		2	各元院200回总次第報占
1173		44 🗆 00 🗆	(X2++c+-+-+-	元景寺	1	四部中華 ナのも振り 対4
		11月30日	岡村庄太夫			伊賀守死去のお悔み礼状
1174	同上	7月5日	古田斉助	同上	1	大隆院結願送り状
1175	同上	12月23日	橋沢岡右工門、他	同上	1	円璋院芳意金子送り状
1176	書簡(控)下書	11000	100++->> //		1	修覆依頼
1177	書簡	11月5日	太陽寺友之丞、他	元景寺	1	但馬守奥方逝去のお悔み礼状
1178	控	0.000	1 > 7-1-77.04		1	過去帳抜書
1179	書簡	8月10日	大河内斉助	元景寺	1	礼
1180	覚	天保12年9月12日	平兵衛	元景寺、他	1	領収書
1181	書簡	6月	勝沼武右工門、他	元景寺	1	大隆院17回忌依頼
1182	<u></u> 同 上	1月2日	高野理右工門、他		1	年始代参差向のこと
1183	同上	12月23日	林庄左工門、他	同上	1	円璋院位牌納の金送り状
1184	同上	1月2日	間瀬市右工門、他		1	年始名代差向案内
1185	0 <u>L</u>	12月23日	高山文左工門、他	同上	1	岩次郎養子緣組通知書
1186	同上	未7月	元景寺	大工村	1	先 触
1187	書簡(控)	7月27日	同上	高橋植八	1	心窓院玉垣修覆見分依頼
1188	書簡	2月2日	田谷弥兵衛	元景寺	1	御霊屋建立見分
1189	同上	12月15日	杉本仁兵衛、他		1	寒中見舞礼状
1190	同上	7月4日	杉江安兵衛、他		1	大隆院17回忌法要回向料送り状
1191	同上	12月15日	市川喜内、他	同上	1	寒中見舞礼状
1192	同上	7月4日	岡谷三太夫	a E	1	大降院17回忌法事料送り状
1193	同上	3月9日	太陽寺典膳	同上	1	茶湯料送り状
1194		12月3日	太陽寺友之丞	同上	1	寒中見舞礼状
		, 50				五十橋お目見え相済代参差向案
1195	同上		蟻川与一左工門		1	内状
1195—2	包				1	F 3/V
1195-3	日録				2	包2枚
1195—4					3	
		40-20-	カルボナエ88			法事供養料
1196	書簡	12月30日	高山文左工門	元景寺	1	礼 状
1197	目 録	7月11日	酒井清左工門		1	党
1198	書簡	6月28日	嶋田勘太夫、他	元景寺	1	餞別送り状
1199	目 録	3月27日	1		1	法事料備物覚
1200	書簡	12月22日	大木八郎	元景寺	1	寒中見舞礼状
1201	同上	1月2日	高山瀬兵衛、他	同上	1	年始代参案内状
1202	同上	申8月11日	岡谷瑳磨介、他	同上	1	署中見舞礼状
1203	同上	1月25日	秋元岩次郎	同上	1	年賀礼状
1204	a E	3月24日	双林寺		1	進院通知
1205	同 上	9月8日	中島源蔵、他		1	右近中川御番被仰付報告
1206	同上	8月6日	斉田源七郎、他	同上	1	礼 状
1207	同 上	8月11日	秋佐衛門佐	同上	1	入部祝い礼状
1208	同上	8月14日	塚越平学		1	礼 状
1209	n L	2月6日	秋但馬守		1	叙景祝い礼状
1210	同上	閏7月26日	長谷川只之進、他	in L	1	礼状
1211	n L	1月16日	橋沢岡右工門	同上	1	年賀礼状
1212	同 上	9月12日	嶋田勘太夫、他	6 L	1	往来印鑑受渡しのこと
1213	6 L	7月25日	石川勝兵工、他	同上	1	朱印についての上京見合せの状
1214	同上	1月2日	太陽寺友之丞	a L	1	若殿への年賀礼状
1215					1	大隆院殿33回忌法要次第書
1216	書簡(控)			田村作右工門、他	1	旅館照合のこと
1217	書簡		林庄左工門、他	元景寺	1	飯米料について
1218	a L		梶塚槌蔵	a L	1	梶塚家墓所等の世話依頼
		7.0465				光厳寺焼失につき元景寺にて但
1219	同上	7月19日	斉田源蔵、他	元景寺	1	馬守の葬儀執行依頼
1220	同上	5月9日	大木八郎、他		1	表門再築依頼の返書
1221		7月13日	斉田源蔵	元景寺	1	但馬守葬儀依頼
1222	la F	5月27日	粕川半兵衛	同上	1	江湖祈禱の礼状
1223	同 上	4月27日	勝沼武右工門	同上	1	但馬守勝手向不如意の通知
1224	同 上	1月25日	秋元右近	同上	1	年賀礼状
						春光院200回忌玉垣修覆等願い
1225	同上	12月16日	相田新五左工門	同上	1	本元成200回応玉垣修復寺線(*) の返書
1226	a L	5月1日	間瀬九左工門	同上	1	春光院法事の返書
1440	P +	O'B I LI	ISUMR/ V/III/I	I의 エ	- 1	表門再建につき省略中につき費
1227	同上	閏4月20日	杉本貞右工門	同上	1	
						用の場を寄付する
1228	書簡(控)	亥6月28日	元景寺		1	大和守隠居に伴い国許普請用材
						供出の件
1229	書簡	戌1月25日	市川嘉内、他	元景寺	1	年賀礼状
1230	同 上	7月12日	杉江俊右工門	同上	1	御霊屋修理願聞済のこと
1231	同上	2月	小俣七郎、他		1	左衛門佐婚礼相済につき霊前報
						告の金子着任のこと
1232	同上	2月3日	千本託蔵	同上	1	長寿院逝去のお悔み礼状

1288 振	文書番号	表題	年 代	差出	宛 先	数	備考
1289 東京 12月19日 2月19日 2月19日 2月19日の公と 12月19日 2月19日 2						1	江湖飯料取止めのこと
1929 日 1921 日 1921 日 1921 日 1921 日 1921 日 1922 1							
1938 向 上							
1938 向 上 2月88日 部分一大夫 向 上 1 年齢入水 1912年 1912							
1920 四 上 日月1日 日 上 1 新年時報以下 1920 1							
1940 京沢寺籍立安帝 東京19千円 四世正太文、世 元宗寺 1 海三郎原子祭、刊、次 1942 四 上							
1924 日 上 中日日日日 秋元万宜 日上 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		永沢寺輪住次第	寛永19壬午			1	
1244 同 上 8月10日 知知解釈、他 日 上 1 月上 1 月上 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1241	書簡	2月17日	岡村庄太夫、他	元景寺		
1944 日 上							
1946 日 上 2月10日 銀田散大夫、他 日 上 1 整寸見類以水 1947 日 上 19月10日 銀川位工門 田 日 上 1 四上 1948 日 上 19月10日 銀川位工門 田 日 上 1 四上 1948 日 上 19月10日 現地位工門 日 上 1 四上 1948 日 上 2月11日 3月11日 3月11日日 3月1日日 3月11日日 3月11日日							
1946 向 上							1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
1247 月 上 19月9日 和別な工作							寒中見舞礼状
1748 日 上 11月20日 早開助佐工門 日 上 1 入院がいさつ状 1750 日 上 2月1日 秋日原守 日 上 1 大学体現 1750 日 上 1月20日 秋日原守 日 上 1 大学体現 1750 日 上 1月20日 秋日原守 日 上 1 大学体現 1750 日 上 1月20日 秋日原守 日 上 1 大学体現 1750 日 上 1月20日 秋日原守 日 上 1 大学体理 1月20日 1750 日 上 1750 日 上 1月20日 1750 日 上 1750 日 1750							
1850 図上						1	入院あいさつ状
1859 同上							
1252 同 上 8月8日 秋日県守 同 上 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
1953 1951 1951 1951 1052	1251		6月4日	秋元但馬守		1	
171世 漢州	1252	同上	8月8日	秋但馬守	同上	1	
1254 書願	1253	賞				1	
1856 書簡	1254		8月10日	小俣七郎、他	元景寺	2	
1257 向 上 2月7日 田村弘小郎、他 向 上 1 個警請方より礼状 1258 向 上 12月8日 和山動解由 向 上 1 一個製作以下 1259 向 上 12月8日 和山動解由 向 上 1 一個製作以下 1259 向 上 12月9日 和山動解由 向 上 1 一個製作の回応配類 1261 向 上 4月2日 双林古動解由 向 上 1 一級製作の回応配類 1262 向 上 1 月20日 双林古重和形的 内 上 1 一級製作の回応配類 1262 向 上 1 月20日 元禄寺立 1 1 日本教育		書簡(下書)	12月7日	元景寺	小俣七郎、他	1	
1268 同上							
1269 南上							
1260 同 上							
1261 同 上							
1262 同 上							
1263 同 上							
1265 東	1263	同上	酉12月		元景寺	1	寒中見舞礼状
1266 書				元景寺	大河内斉助、他		
1267 同上				1 20 + 40 + 70			
1288 周上 8月							
1288 同 上							
1269-2 日銀その他 1270 書簡 6月7日 高山瀬兵衛 元景寺 1 医中見類礼状 1271 同上 同上 同上 可上 可上 1 同上 1 同上 1 同上 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
1270 書 簡 6月7日 高山瀬兵衛 元景寺 1 暑中見類礼状 1271 同 上 日上 日上 日上 日上 日上 日上 日			.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	125700 (22) 3 (12)	1 3 11		340 (11910351 11951 122 3 3 2 2 3 7 1
1271 同 上							
1272 同 上							
1273 同 上			同 上	寺田権太夫、他			同上
1274 大瀬家のいわれ 1275 書 簡 3月15日 大木半兵衛 元景寺 1			1000				て味草を笠の世界 体 植
1275 書 簡 3月15日 大木平兵衛 元景寺 1 扇所玉垣家根置修復許可 1276 党 8月29日 元景寺 1 法事日録 12月29日 大原寺 1 28年月類 12月29日 大原寺 1 28年月類 12月29日 大原寺 1 28年月期 12月29日 12月29日 27月			11120	人	10 1		石牌奉列寺の世前依頼
1276			3月15日	大木半兵衛	元景寺	1	
1278 同 上 西12月28日 太陽寺典膳 同 上 1 寒中見類礼状 年始名代に棟梁をつけ、春分 1280 同 上 明治3年1月17日 安中数矢、他 同 上 1 年強名代に棟梁をつけ、春分 1280 同 上 12月22日 双林寺宝洲和南 同 上 1 八房通知 12月22日 双林寺宝洲和南 同 上 1 入房通知 12月28日 11月5日 矢見清太夫 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1276					1	
1279 同 上							
1279 日 上 1月2日 同瀬印石上門 日 上 1 玉垣破損の状況見分 1280 同 上 1	1278	同上	酉12月28日	太陽寺典膳	同上	1	
1280 同 上	1279	同上	1月2日	間瀬市右工門	同上	1	
1281 同 上	1280		船治3年1日17日	安山数年 他	6 F	1	
1282 同 上							
1283 同 上 12月20日 持田十左工門 同 上 1 寒中見舞礼状 1284 同 上 6月24日 福井内匠介 同 上 1 大隆院50回忌法要依頼 1285 同 上 2月6日 秋但馬守 同 上 1 万隆院50回忌法要依頼 1286 同 上 2月 福井内匠介、他 同 上 1 同 上 1 同 上 1 同 上 1 同 上 1 同 上 1 同 上 1 日上 日上							
1285 同 上 2月6日 秋但馬守 同 上 1 年始礼状 1286 同 上 2月 福井内匠介、他 同 上 1 同 上 1 同 上 1 同 上 1 同 上 1 同 上 1 同 上 1 同 上 1 同 上 1 同 上 1 同 上 1 1 長九正へのお幅み礼状 天狗岩用水のこと関東古戦能 王小馨金兵衛過去帳 王小馨金兵衛過去帳 王小馨金兵衛過去帳 王小馨金兵衛過去帳 王小馨金兵衛過去帳 王小馨金兵衛過去帳 王小馨金兵衛過去帳 1290 同 上 1 月3日 秋元右近 元景寺 1 寝中院四向料送り状 1291 同 上 1 月3日 岩田彦助、他 同 上 1 提回を加水でしつきる 院へ白銀ー枚送り状 1292 同 上 12月1日 坂本伊左工門 同 上 1 清容院位牌納め依頼状 1293 同 上 12月16日 鏡玉次右工門 同 上 1 清容院遺物納め依頼状 1294 同 上 6月3日 太陽寺四郎工門 同 上 1 入院継目あいさつに際し戴地礼状 1295 同 上 6月6日 元景寺 遠山清左工門 1 春光院200年忌法要同い書 1298 同 上 6月6日 元景寺 遠山清左工門 1 春光院200年忌法要同い書 1299 同 上 6月3日 田中儀左工門、 七 音光院250年忌に備えての修 音光院250年忌に備えての修 音光院250年忌に備えての修 1300 同 上 6月26日 岡谷三太夫、他 同 上 1 大隆院法事依頼及び代参差回 1301 同 上 1 大陸院法事依頼及び代参差回 1301 同 上 10日26日 元 日本 日本 日本 1 八窓院石灯籠完成及び法名司 1301 同 上 10日26日 元 日本 日本 1 八窓院石灯籠完成及び法名司 1301 同 上 1 八窓院石灯籠完成及び法名司 1301 同 上 10日26日 日本 日本 1 八窓院石灯籠完成及び法名司 1301 同 上 10日26日 日本 10日26日 10日		同 上	12月20日	持田十左工門			
1286 同 上 2月 福井内匠介、他 同 上 1 同 上 1 同 上 1 1287 同 上 11月18日 秋元右近 同 上 1 年人正へのお悔み礼状 1288 掟 文政 9年8月 1 天列岩用水のこと関東古戦範							
1287 同 上							
1288 提 文政9年8月 1 天狗岩用水のこと関東古戦能							
1288 接				1/// 0 LJ /LL	1-J -L		天狗岩用水のこと関東古戦録山
1290 同 上							王小暮金兵衛過去帳
1291 同 上			万延1年12月18日				
1291 同 上	1290			小俣内蔵介	同上	1	
1293 同 上							院へ白銀一枚送り状
1294 同上 6月3日 太陽寺四郎左工門 同上 1 入院継目あいさつに際し戴木 礼状 1295 同上 1 回上 4 1296 同上 8月11日 篠原繁蔵、他 同上 1 目録送り状 1297 同上 6月6日 元景寺 遠山清左工門 1 春光院20年忌法要伺い書 1298 同上 己7月 4 1299 同上 6月3日 田中儀左工門、他 元景寺 1 香光院250年忌に備えての修善部の金子御添 1300 同上 6月26日 岡谷三太夫、他 同上 1 大隆院法事依頼及び代参差に 1301 同上 1 小窓院石灯籠完成及び法名記							
1294 同 上 1295 同 上 1296 同 上 27月 1297 同 上 6月6日 元景寺 遠山清左工門 1 春光院200年忌法要同い書 1298 同 上 127月 27月 27月 27月 27月 28日 27月 27							
1296 同上 8月11日 篠原繁蔵、他 同上 1 目録送り状 1297 同上 6月6日 元景寺 遠山清左工門 1 春光院200年忌法要伺い書 1298 同上 己7月 4 1299 同上 6月3日 田中儀左工門、他 元景寺 1 春光院250年忌に備えての傾着語の金子御添 1300 同上 6月26日 岡谷三太夫、他 同上 1 大隆院法事依頼及び代参差に 1301 同上 1 小窓院石灯籠完成及び法名品	1294		6月3日	太陽寺四郎左工門	同 上	1	
1297 同上 6月6日 元景寺 遠山清左工門 1 春光院200年忌法要伺い書 1298 同上 己7月 4 1299 同上 6月3日 田中儀左工門、他 元景寺 1 春光院250年忌に備えての傾音譜の金子御系 1300 同上 6月26日 岡谷三太夫、他 同上 1 大隆院法事依頼及び代参差的 1301 同上 10日28日 元陽寺 岩田彦助、他 1 小窓院石灯籠完成及び法名品							
1298 同上 己7月 1299 同上 6月3日 田中儀左工門、他 元景寺 1 善治の金子御系 2 音譜の金子御系 2 一条書 2 日本 2 日							
1299 同上 6月3日 田中儀左工門、 他 元景寺 1 春光院250年忌に備えての修 普譜の金子御添 1300 同上 6月26日 岡谷三太夫、他 同上 1 大隆院法事依頼及び代参差所 1301 同上 10日26日 元陽寺 岩田彦助 他 1 小窓院石灯籠完成及び法名				兀景寺	遠山清左工門		春光院200年忌法要伺い書
1299 P 上 6月3日 他 7元景寺 1 普譜の金子御添 1300 同 上 6月26日 岡谷三太夫、他 同 上 1 大隆院法事依頼及び代参差に				田山儀左丁門			寿光院250年忌に借っての終焉
1301 同 上 10日28日 元暑寺 岩田茂助 他 1 心窓院石灯籠完成及び法名品				他			普譜の金子御添
	1301		10月26日	元景寺	岩田彦助、他	1	願い

文書番号	表題	年 代	差出	宛 先	数	備考
1302	書簡	10月27日	元景寺		1	大本山永平寺修覆冥加金願い書
1303		2月1日	小俣七郎、他	元景寺	1	長寿院逝去お悔みの礼状
1000	1-3 1	27310	31 XAO XII.	7025 0		甲州転役につき文の法号を過去
1304	同上	6月3日	四公兵八郎		1	
1304	同上	OH30	岡谷兵八郎	同上	1 7	帳に書留下さるよう又墓所の世
					ļ	話依頼
1305	同上	2月9日	秋元隼人正	同上	1	礼状
1306	書簡下書				1	年貢米のこと
1307	春光院(250回忌)目録				1	
1308	書簡	10月10日	林庄左工門、他	元景寺	1	院内修覆願の返書
1309	同上	未6月18日	持田金五郎	同上	1	院内山門修覆見分役差向のこと
1310	同上	1月2日	高山文左工門	同上	1	· 願聞済
1311	la E	未6月24日	持田金五郎、他	同上	1	竹矢来、門完成
1312	同上	6月17日	高山瀬兵衛	同上	1	依頼品完成につき使僧差出下知文
1313		万延1年12月18日	中島丑三郎、他	同上	1	寒中見舞礼状
1314	a L	12月16日	小俣七郎、他	同上	1	佐衛門佐日見祝礼状
1315	同上	4月12日	渡辺孫一郎、他	同上	1	願の儀依頼済
1316	口上書覚	寅10月	上州白井双林寺	寺社御奉行所	1	お目見え控
1317	書簡	12月1日	間瀬九右工門	元景寺	1	春光院法事礼状
1318	同上	12月19日	小俣七郎、他	同上	1	心窓院石灯籠完成の報
1319	先触状	7月20日	秋元左衛門佐		1	但馬守遺骸相送の先触状
1320				en#++	1	
	書簡(下書)	8月3日	元景寺	島田勘太夫	1	上棟祝い参列願
1321	書簡	8月10日	勝沼武右工門、他	元景寺	1	位牌堂修覆料渡し状
1322	同上	6月7日	篠原繁蔵、他	同上	1	清厳院200回忌法要依頼
1323	同上	戌1月	太陽寺友之丞、他	同上	1	年賀礼状
1324	書簡下書き				1	願 状
1325	書簡	安政4年12月20日	秋元右近	同上	1	寒中見舞礼状
1326		12月20日	田中八兵衛	高 <u>上</u>	1	江胡及び開山250年忌のこと
1327						
	覚	4月15日	大納戸	同上	1	長寿院位牌法要
1328	書簡	12月29日	岡谷瑳磨介、他	同上	1	寒中見舞礼状
1329		文久1年2月2日	矢貝一学、他	同上	1	年賀礼状
1330	同上		安藤小一右工門、他	同上	1	使僧に対する礼状
1331	同上	7月3日	松尾忠助、他	同上	1	暑中見舞礼状
1332	a L	7月12日	勝沼武右工門、他		1	位牌堂修覆聞済のこと
1333	同上	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1000004011 St 10	元景寺	3	E/FE/S&ID/A O C C
1334		4月23日	秋但馬守	同上	1	入院あいさつ状
1335	同上	亥3月26日	渡辺弥三郎、他	光厳寺	1	宝篋塔は元景寺に建つべきこと
1336	同、上	1月13日	山瀬新左工門	元景寺	1	年賀礼状
1336-2	目 録				2	回向料
1337	升の覚				1	控4寸~1尺
1338	余銭覚	明治			1	
1339	書跡				1	
1340	短冊		****		1	明月佳聞<四海山
1341	心窓院200年忌式次第				1	タシ コエロ ノロバスロ
		XE.				·
1342	壇家13回忌通知文	江戸			1	
1343	座席順				1	
1344	石碑文				1	
1345	n L				1	No.1344と一連のもの
			W-10#5			正徳5年立碑、延享3年祭、寛
1346	心窓院殿祭文		秋元但馬守		1	政11年玉垣、享和3年宝篋塔、
1 .3.0			藤原久朝		1 '	文政9年石燈籠
1347	十段的10同己の割入+2	本日知の口			1	ヘルスラギロな用
	大隆院13回忌役割分担	本月初9日			1	dis strate
1348	役割分担表				1	典座寮
1349	大隆院殿33年忌(日程)式				1	
	次第				Ш'	<u> </u>
1350	葬儀役割分担表				1	
1351	常仙和尚死去連絡文	汀戸			1	
1352	春光院殿250年忌法要次第	江戸末			1	10日~20日まで
1353		111 1			1	6分担
	葬儀役割分担					- 70 3
1354	掲示				1	供養単価表
1355	式次第				1	経をとなえる順1声~6声
1356	掲示物	明治			9	
1357	腰板紙	寛政己辰霜月上旬夜				
1358		同上			 	
1359	拓 本	江戸			5	詩歌
1338	70 个	//				ηη AN

元景寺什物目録

整理番号	表	題	年	代			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	考	(cm)
2001	圭心院殿御遺:	物(たらい)	安永7年	8月	秋元摂津守 径5	3 高20.6			
2001-2))	(水さし)			径19.6 高19.6				
2002	かごの戸		文化フ年	57月	心窓院殿御旧物、	54.6×53.5	大隆院殿御葬式		
2003	御湯桶盥(6)	点)							
2003-1	(た	らい)			三本足				
2003-2	(ZK	さし) 大			注ぎ口にふた付				
2003-3		小))				
2003-4	(D)	つ)							
2003-5	(zK:	さし) 小							
2003-6	(し	やもじ)							
2004	かご (2)	点)			住職用				

あとがき

文化財保護法第一条に「この法律は、文化財を保存し、且つ、その活用を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献することを目的とする。」と、法の目的が記されていますが、同時にその内容は文化財保護行政に携わる者の原点とされるべきものといえます。本報告書18集は、こうした意味で62年度に文化財保護室が実施した事業の全てについてその概要を記したものですが、単に記録にとどめることを目的としているのではなく、これをきっかけとして各々の文化財が保護され活用されることを願って刊行されるものです。

62年度整備事業の中で「総社歴史散歩道」整備は、個々の文化財を線的に結ぶことを目的として道標を設置したもので、充分とは言えないまでも本市史跡整備が活用を目あてとして次の段階に進んだ証しと考えられます。本事業終了予定の64年度には、前橋・新前橋・群馬総社各駅から総社地区を中心とした文化財の史跡散歩ができるようになっている筈です。そしてこの手法が将来的には市内全域を対象として、点的整備から線的整備、面的整備へとより広域化されてゆくことと思います。

よりたくさんの方々が、ハンドブック、マップを片手にあるいは石仏の前で、あるいは古墳の前で立ちどまっている姿を思い浮かべながら、63年度の事業に取り組んでゆきたいと考えております。

昭和62年度

1	L5	- 411	4	-		^
BILL	橋市	7 777	百	1	Ħ	4

文化財保護室 室 長 福田 紀雄 文化財保護係 縣(縣) 福田 紀雄

主 任 高橋 正男 主 任 井野 修二

主 任 中野 和夫

主事中野覚

埋蔵文化財係 係 長 浜田 博一

主 任 遠藤 和夫

主 任 駒倉 秀一

主任 園部 守央

主 任 井野 誠一 主 任 前原 豊

主任桑原昭

主 事 関根 吉晴

嘱 託 新保 一美

嘱 託 加部 二生

前橋市文化財調查委員

議長 近藤 義雄

中沢 右吾

丸山 知良

松島 栄治

梅沢 重昭

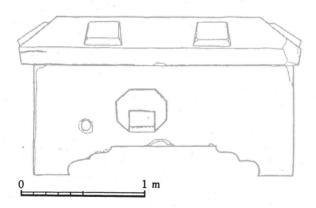
昭和62年度 文化財調査報告書 第18集

昭和63年8月31日印刷

昭和63年9月1日発行

発 行 前橋市上泉町 6 6 4 - 4 前橋市教育委員会文化財保護室

印刷 上毎印刷工業株式会社



宝塔山古墳家形石棺